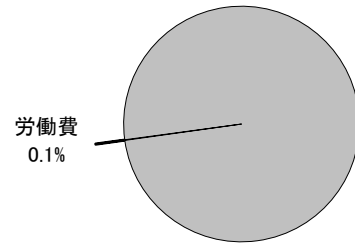


第5款 労働費

■一般会計に占める割合



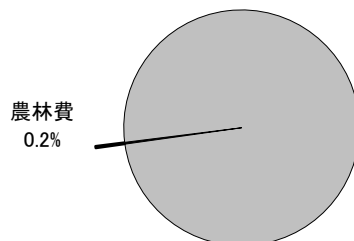
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	76,428	66,208	11,478	0	0	54,730	86.6%
令和3年度	72,197	69,985	14,785	0	0	55,200	96.9%
増 △減	4,231	△3,777	△3,307	0	0	△470	—

第6款 農林費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	211,589	187,403	22,192	0	6,924	158,287	88.6%
令和3年度	204,711	182,200	30,530	0	3,383	148,287	89.0%
増△減	6,878	5,203	△8,338	0	3,541	10,000	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

農業費

1 学校給食用農産物の栽培促進に向けた取組

1,027,000円

115,500円

〈農業振興支援事業費〉

「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」に基づき、認定農業者等が貸借した都市農地における学校給食用農産物の栽培に対して助成を行い、市内産野菜の安定的な供給量の確保を図り、学校給食における市内産野菜の使用率向上に取り組みました。

〔実績・内容〕

対象者	学校給食用農産物の供給に良好な実績のある認定農業者及び準認定農業者
補助要件	事前に市と農業者の間で貸借都市農地における学校給食用農産物の栽培契約を締結していること
補助件数	1件
補助金額	115,500円
契約面積	1,030㎡

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
2 準認定農業者制度の新設 <認定農業者関係費> 小規模農地等により認定農業者制度の認定要件に満たない農業者に対して、営農意欲の向上とともに、農産物の供給力向上や品質安定化など経営力の強化を図るため、市独自の農業者認定制度として準認定農業者制度を創設し、準認定農業者を認定しました。 [実績・内容] 認定基準 農業経営改善計画を立てた5年後の経営目標において、年間農業収入が1アール当たり8万円以上又は農業所得が200万円以上 利 点 ・改善計画の作成及び達成のため、専門的知見を有する三鷹市準認定農業者等相談支援チームの助言等を受けることができる。 ・市が実施する補助制度において、認定農業者と同等の優遇を受けることができる。 等 認定件数 2件	21,000円	16,876円
3 市内産農産物の活用促進に向けた取組 <「三鷹産野菜の日」関係費、市内産農産物利用推進事業費> 地産地消の更なる拡充を図るため、東京むさし農業協同組合三鷹支店と協力し、学校給食における市内産農産物の活用促進に向けた取組や公立・公私連携保育園を対象にした「三鷹産野菜の日」を引き続き実施しました。 [実績・内容] ・市内産農産物の使用率 令和4年度 19.9%（前年度17.0%） ・「規格外」品の使用拡大への取組 学校給食で使用する野菜について「規格外」品の使用拡大に向けて、生産者、東京むさし農業協同組合三鷹支店、学校栄養士が目合わせ会を実施し、市内産野菜を積極的に使用できる環境の整備に取り組みました。 ・学校給食市内産農産物活用事業補助金 4,961,545円 市内産農産物の使用率30%の達成に向けて、補助単価を増額するとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣等が身に付く食育を推進する研究校（第三小学校、第七小学校、第四中学校）には更に補助単価を増額し、使用率の向上を図りました。 対象校 市立小・中学校 22校 補助金額 児童・生徒一人当たり480円（研究校 600円） ・市内産農産物活用支援事業補助金（三鷹産野菜の日） 106,266円 対象施設 公立・公私連携保育園 18園 実施時期 春夏と秋冬の2回	11,516,000円	9,852,095円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・市内産農産物利用推進事務補助金 4,784,284円
 対象経費 食材の配送等に係る事務費（東京むさし農業協同組合三鷹支店に対して補助）

〔関連事業費〕

教育費 市内産農産物の活用に向けた食育研究の実施 193,087円
 (171ページ参照)

【財源内訳】

都支出金	1,318,000円	一般財源	8,534,095円
------	------------	------	------------

4 農業公園の施設改修に向けた取組 2,600,000円 2,420,000円

＜農業公園管理運営費＞

農業公園の安全及び衛生面の向上を図るため、令和5年度に園内のトイレ建替え、園路のバリアフリー化及び雨水処理施設の整備を行います。令和4年度は、改修工事の実施に向けて測量等や、市民や関係団体等で構成する三鷹市農業公園運営懇談会において意見交換を行い、利用しやすい施設を目指して仕様の検討を進めました。

5 市民農園の一体的な運用の開始 12,619,000円 12,615,000円

＜市民農園管理運営費＞

一般向けと高齢者向けを農園ごとに区分して運営していた市民農園について、同じ農園内に一般向けと高齢者向けの区画を設けることで市民農園の利便性の向上を図りました。

〔実績・内容〕

令和3年度	一般向け164区画、高齢者向け446区画
令和4年度	一般向け176区画、高齢者向け368区画

【財源内訳】

都支出金	2,902,000円	諸収入	3,371,000円
一般財源	6,342,000円		

6 都市農業振興施設整備への助成 7,292,000円 7,037,000円

＜都市農業振興施設整備事業費＞

農業収入の向上に取り組む認定農業者を支援するため、施設整備への補助を行いました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

実施主体	認定農業者 2名	
整備内容	パイプハウス設備	2棟 (226.8㎡)
	灌水システム	1式
	野菜用自動販売機	2台
	野菜用自動販売機ユニット	3台

【財源内訳】

都支出金	6,037,000円	一般財源	1,000,000円
------	------------	------	------------

7 持続可能な都市農業に向けた研究 1,463,000円 1,463,000円

＜都市農業研究会運営関係費＞

令和3年10月に三鷹まちづくり総合研究所に設置された「持続可能な都市農業に向けた研究会」において、担い手支援や最新技術の活用など都市農業が抱える課題等の調査・研究に取り組み、都市農業の発展に向けた実効性のある施策について取りまとめました。

〔実績・内容〕

- ・持続可能な都市農業に向けた研究会
開催回数 8回
- ・持続可能な都市農業の推進に向けた方向性の提案
 - ①学校給食における市内産農産物利用の拡大
 - ②生鮮で使用できない農産物の有効活用
 - ③循環型農業（農業残渣の資源化）の推進
 - ④市民が三鷹農業に触れ・支える新たな取組

8 農家への肥料購入費用の支援 13,992,000円 2,310,507円

＜農産物栽培用肥料購入費助成事業費＞

海外情勢の影響により、農産物栽培用に使用する肥料価格が高騰していることから、農作物価格の上昇を抑制し、農業者の負担軽減を図るため肥料購入経費の一部を助成しました。

〔実績・内容〕

対象経費	令和4年7月1日～令和5年2月28日に購入した肥料に係る経費	
補助金額	認定農業者及び準認定農業者	上限10万円（補助率3/10）
	一般農家	上限4万円（補助率3/10）
	※国又は地方公共団体の補助等がある場合は、市の補助とあわせて、購入に要した費用の30%までの額	
補助件数	50件	

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	1,596,000円	一般財源	714,507円
-------	------------	------	----------

9 農家への施設栽培用設備の燃料費の支援 2,772,000円 1,097,602円

＜農業施設用燃料費助成事業費＞

市内農家の施設栽培用暖房設備に使用する重油及び灯油等の価格が高騰していることから、農産物価格の上昇を抑制し、農業者の負担軽減を図るため高騰分の一部を助成しました。

〔実績・内容〕

対象者	農業用ハウスで販売用農産物を生産する市内農家
補助対象	令和4年10月1日～令和5年3月31日に農業用ハウスの加温に使用した重油及び灯油等の燃料に係る費用
補助金額	・A重油 1リットル当たり上限30円 ・灯油 1リットル当たり上限20円 令和2年3月時点における一般財団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センター調べの納入価格と購入価格の差額を補助
補助件数	10件

10 ハウス栽培における温室効果ガス排出削減事業の実施 9,000,000円 9,000,000円

＜ヒートポンプ導入支援事業費＞

燃油暖房設備の使用燃料の削減及び温室効果ガスの排出抑制を図るため、ハウス栽培を営む市内農家に対して、新設された東京都の補助制度を活用し、ヒートポンプの導入を支援しました。

〔実績・内容〕

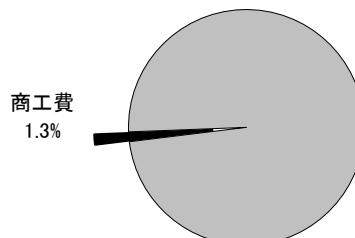
対象者	認定農業者
補助対象	ハウスで施設園芸品目（野菜・果樹・花卉等）を栽培する施設でヒートポンプの導入に要した経費
補助金額	1事業所実施主体当たり上限900万円（補助対象経費の10分の9以内）
補助件数	1件

【財源内訳】

都支出金	9,000,000円
------	------------

第7款 商工費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	1,149,802	1,015,810	449,769	0	48,306	517,735	88.3%
令和3年度	676,989	589,930	128,720	0	44,658	416,552	87.1%
増△減	472,813	425,880	321,049	0	3,648	101,183	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

商工費

1 経営相談窓口の開設期間の延長

6,036,000円

5,517,600円

〈商工会助成事業費〉

三鷹商工会との協働により令和2年3月23日から開設している経営相談窓口について、令和4年9月までの開設予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中で、原油価格・物価高騰等の影響もあり、事業者からの経営相談及び国や東京都の各種支援金に関する相談など、継続して相談が見込まれたことから開設期間を令和5年3月まで再延長し、市内の中小企業者等の支援に取り組みました。

〔実績・内容〕

相談体制	三鷹商工会において、週3日開設
支援内容	中小企業診断士等による経営全般の相談、補助金等のオンライン申請支援 など
相談実績	電話相談 5件 窓口相談 249件

【財源内訳】

国庫支出金 4,208,000円

一般財源 1,309,600円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<p>2 中小企業者の事業承継に対する支援 748,000円 579,860円</p> <p>＜商工会助成事業費、経営・産業技術アドバイザー等関係費＞</p> <p>事業所が所有する経営資源の喪失防止や集約を目的として、市内事業所、同業種組合、商店会及び三鷹商工会などと連携しながら、経営資源引継ぎ型創業や合併等を含む多様な事業承継支援に取り組みました。また、セミナーを開催し、機運を醸成しながら事業承継を促進することで、市内の中小企業・小規模企業者の経営力、競争力の向上を図りました。</p> <p>〔実績・内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの開催 三鷹商工会による事業承継の機運醸成を目的としたセミナーの開催を支援 参加人数 54名 ・経営アドバイザー制度の拡充 三鷹商工会等と連携して実施している経営アドバイザー制度を拡充し、事業承継に関する相談を含め、幅広く支援を行いました。 相談件数 29事業者35件（うち事業承継関連 4事業者6件） 		
<p>3 商店会の販売促進と活性化に向けた支援の実施 3,502,000円 2,911,014円</p> <p>＜商店街助成事業費＞</p> <p>三鷹商工会と三鷹市商店会連合会（以下「市商連」という。）が開発した商店会アプリケーション「ミィね！mitaka」のデジタルスタンプラリー機能等を活用した商店会の活性化事業を支援し、販売促進を行いました。</p> <p>〔実績・内容〕</p> <p>市商連と三鷹商工会が参加店舗を募り開催した歳末市内一斉セールに合わせて「ミィね！mitaka」を活用し、商店や観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施しました。集めたスタンプ数に応じて景品と交換することで、来街者による市内周遊や商店の新規開拓を促進し、地域の活性化に結びました。</p> <p>また、歳末市内一斉セール期間中には、アール・ブリュット作品の展示を中心としたアートイベントを美術ギャラリー等で開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳末市内一斉セール 開催期間 令和4年12月20日～令和5年1月31日 参加店舗 69店舗 ・アール・ブリュット作品展 開催期間 令和5年1月5日～1月15日 <p>〔関連事業費〕</p> <p>民生費 三鷹市商店会連合会等と連携したアール・ブリュット作品の展示 420,000円（100ページ参照）</p>		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 公衆浴場事業者への燃料費の支援 3,600,000円 3,384,832円

＜公衆浴場助成事業費＞

市内公衆浴場事業者に対して、燃料費の高騰に伴う負担を軽減するため助成を行い、事業活動の継続を支援しました。

〔実績・内容〕

対象施設 市内公衆浴場の4事業者
 対象経費 令和4年7月～令和5年3月分のガス使用料
 助成金額 1月当たり上限10万円（前年同月比の増加額が10万円未満の場合はその額）

【財源内訳】

国庫支出金 2,581,000円 一般財源 803,832円

5 不況対策緊急資金融資あっせん制度の要件緩和の延長 45,527,671円 44,682,948円

＜中小企業者支援事業費＞

令和2年4月から実施している不況（特定不況）対策緊急資金の貸付要件の緩和について、令和5年3月まで延長して実施しました。

〔実績・内容〕

年 度	令和2～3年度		令和4年度
名 称	不況（特定不況）対策緊急資金		
貸付限度額	運転資金：800万円（令和2年度は1,600万円）		
利 率	本人負担：0.35% 市負担：1.625%		
信用保証料	100%補助		
返済期間	6年（据置12か月）		
貸付要件における売上減少の比較期間	①基本要件	②緩和要件	②について 令和5年3月まで延長
	最近3か月または1年間の売上額実績と過去同期と比較	（新型コロナウイルス対策分） 最近1か月の実績額または最近1か月及び今後2か月を含む3か月の実績見込と過去同期と比較	
減少割合	10%以上減少	減少のみ （割合は問わない）	

あっせん件数 不況対策緊急資金（新型コロナウイルス対策分） 39件
 特定不況対策緊急資金（新型コロナウイルス対策分） 111件

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
6 市内創業者への事業継続支援の実施 ＜創業者支援事業費＞ 創業に要した経費の一部を補助することで、市内創業者の事業活動の継続を支援しました。 [実績・内容] 対象者 主に①～③の要件を満たし、審査にて選定された方 ①令和2年4月から申請日の前日までに創業支援関係機関（※）による支援を受けていること ※三鷹市、三鷹商工会、株式会社まちづくり三鷹、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構、NPO法人みたか市民協働ネットワークの5機関 ②市内に事業所を有していること ③創業後3年以内であること 補助金額 上限20万円（補助率2／3） 補助件数 4件	906,000円	844,968円
7 三鷹の魅力発信のオンラインツアーの開催 ＜観光振興推進事業費＞ 身近な観光資源の再発見や再認識の機会を創出するため、NPO法人みたか都市観光協会が主体となり、参加体験型のオンラインツアーを開催しました。オンラインツアーでは、三鷹の「防災」にスポットを当て、普段は見ることができない施設の裏側を巡るとともに、三鷹市や三鷹市消防団などが取り組む防災・消防活動を紹介しました。 [実績・内容] ツアー名 目からウロコ！「防災」のリアルに迫る！観光×防災バックヤードオンラインツアー in 三鷹 開催日 令和5年2月26日（日） 参加人数 21人	427,000円	422,293円
8 生産性向上に取り組む事業者への補助 ＜中小企業生産性向上支援事業費＞ 令和3年度に実施した市内事業者実態調査の結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて意欲的に設備投資等を進める市内事業者への補助を行い、市内産業の活性化を図りました。	23,867,740円	8,900,518円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

対象経費	・機械・装置、器具・備品の購入、製作、借用及び設置等に要する経費 ・ソフトウェア・情報システムの購入、構築等に要する経費 等
申請期間	令和4年6月1日～6月27日（第1弾） 令和4年8月1日～8月29日（第2弾）※ ※申請要件を緩和し、8月1日から再度募集を開始 ・売上減少要件の撤廃 ・過去2年度に国の補助金の交付を受けている場合の除外要件の撤廃 ・窓口受付の実施（1次募集は郵送のみ）
補助金額	上限30万円（補助率2／3）
申請件数	31件（第1弾：7件、第2弾：24件）
交付実績	28件（第1弾：6件、第2弾：22件）

【財源内訳】

国庫支出金	2,395,000円	都支出金	3,820,000円
一般財源	2,685,518円		

9 中小企業等への特別給付金の給付 73,831,260円 72,368,134円

〈中小企業等特別給付金給付事業費〉

新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少や資金繰りの悪化等が長期化する中、原油価格・物価高騰等の影響も大きくなることが予想されたため、市内中小企業等に対して特別給付金を給付し、事業継続を支援しました。

〔実績・内容〕

対象者	・令和3年12月31日以前から市内に事業所を有して事業を行っており、申請日現在も引き続き市内に事業所を有して事業を継続している中小企業等 ・令和3年1月から12月までの事業収入等（売上高+国や東京都等から給付金等の合計）が平成31年1月から令和元年12月までの事業収入等と比較して10%以上減少している事業者等
給付額	1 中小企業等当たり上限10万円（事業収入等の減少額が10万円未満の場合はその額）
給付実績	支給金額 71,365,316円（714件）

【財源内訳】

国庫支出金	55,174,000円	一般財源	17,194,134円
-------	-------------	------	-------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 地域応援商品券事業の実施 472,242,000円 416,035,720円

＜地域応援商品券事業費＞

コロナ禍において、原油価格・物価高騰等に直面する中で、三鷹商工会が主催する商品券事業への補助を行い、地域経済の活性化を図るとともに、市民生活を応援しました。

〔実績・内容〕

・補助実績

市内共通商品券事業補助金	416,035,720円
（内訳）商品券事業費補助金	283,842,703円
事務費補助金	132,193,017円

・商品券事業概要

利用期間	令和4年11月10日～令和5年1月31日
販売枚数	190,286枚
販売価格	6,500円分を5,000円／枚で販売
取扱店数	516店舗
販売額面	1,236,859,000円
換金額	1,229,985,046円
使用率	99.4%

【財源内訳】

国庫支出金	131,032,000円	都支出金	241,042,000円
一般財源	43,961,720円		

11 運送事業者への事業継続支援給付金の給付 29,416,000円 19,208,960円

＜運送事業者継続支援事業費＞

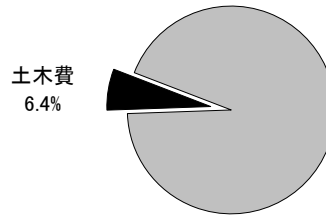
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が続く中、原油価格の高騰に直面している運送事業者に対して給付金を給付し、事業活動の継続を支援しました。

〔実績・内容〕

申請期間	令和4年11月1日～12月23日		
給付額	上限100万円／事業者		
	・貨物運送車両（普通車以上）	46,000円／台	
	・軽貨物運送車両（四輪）	17,000円／台	
	・軽貨物運送車両（二輪）	11,000円／台	
	・一般旅客運送車両（貸切バス）	35,000円／台	
給付実績	6事業者（計446台）		

第8款 土木費

■一般会計に占める割合



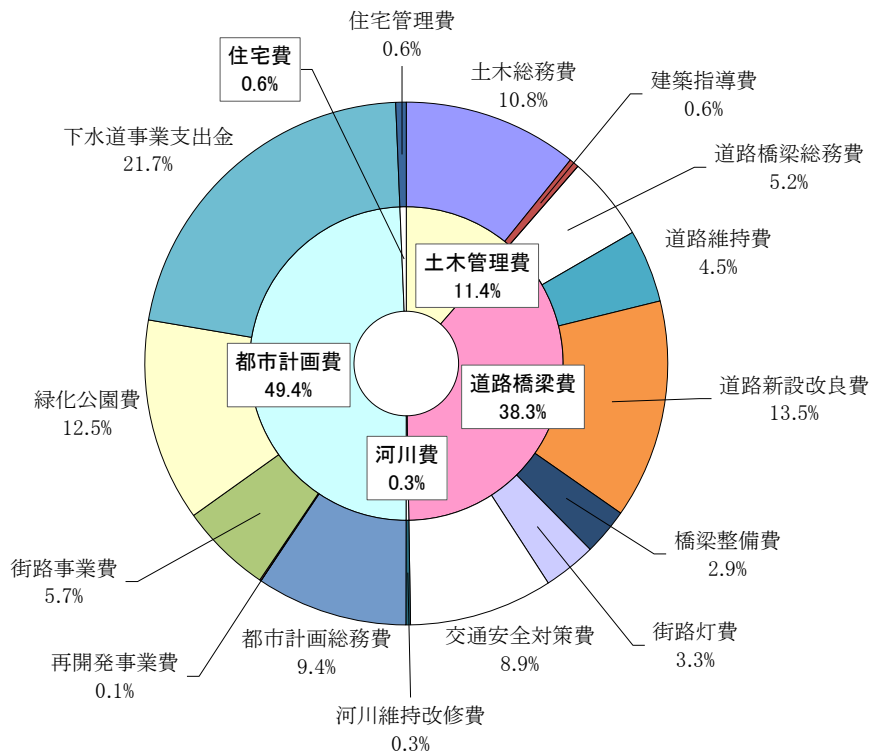
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	5,593,849	4,871,973	642,299	191,000	89,058	3,949,616	87.1%
令和3年度	5,641,664	5,235,643	820,469	351,000	110,486	3,953,688	92.8%
増△減	△47,815	△363,670	△178,170	△160,000	△21,428	△4,072	—

決算額項別目別構成比

内円：項
外円：目



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

道路橋梁費

- 1 生活関連経路におけるバリアフリー化の推進 4,475,000円 4,473,502円

＜バリアフリーのみちづくり推進事業費＞

令和2年3月に改定した「三鷹市バリアフリーのみちづくり基本構想2022（第2次改定）」に基づき、重点整備地区に位置付けた生活関連経路について、安全な歩行空間を確保するための対策を実施しました。

〔実績・内容〕

対象路線 市道第469号線（吉祥寺通り～海上技術安全研究所）
 整備内容 歩道の設置（南側約20mの整備）

- 2 三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの改修 147,369,800円 131,782,200円

＜三鷹駅前デッキ改修事業費＞

平成30年度に策定した「三鷹駅南口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画」に基づき、供用開始から25年以上が経過しているデッキの計画的かつ段階的な改修等に取り組みました。令和4年度は、1期デッキの側面パネルの設置工事、電気設備工事のほか、長寿命化修繕計画の見直しを行いました。

【財源内訳】

市	債	84,000,000円	一般財源	47,782,200円
---	---	-------------	------	-------------

- 3 三鷹台駅前広場の整備の推進 114,770,000円 75,371,669円

＜三鷹台駅前周辺地区整備事業費＞

平成30年7月に策定した「三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針」に基づき、令和5年度までの2か年計画で市の東部地区の玄関口にふさわしい都市空間の創出に向けて、駅前広場の整備に取り組んでいます。令和4年度は、広場の整備工事に着手し、地域の防災機能等の強化を図るため、防火貯水槽を設置したほか、広場の車道部と重なり支障となる電線共同溝の設備の一部移設を行いました。

〔債務負担行為の内容〕

三鷹台駅前広場周辺地区整備事業 57,040,000円
 （令和5年度＜債務負担分＞85,575,000円 全体事業費142,615,000円）

〔関連事業費〕

消防費 三鷹台駅前周辺地区の防災機能の強化 9,075,000円
 （163ページ参照）

【財源内訳】

市	債	50,000,000円	一般財源	25,371,669円
---	---	-------------	------	-------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 牟礼地区生活道路緊急安全対策の推進 29,683,000円 6,426,640円

＜牟礼地区生活道路緊急安全対策事業費＞

東八道路の延伸に伴う、交通量の増加や生活道路への車両の流入などの道路環境の変化を踏まえ、歩行者等の通行の安全性や快適性を確保するため、歩道が連続していない東多世代交流センター周辺の三鷹台団地通りの歩道整備に向けた設計を実施しました。その後の工事については、入札不成立により年度内の工事着手が困難となったことから、スケジュールの見直しを行い、令和5年度に着手することとしました。

〔繰越明許費繰越額〕

令和5年度への繰越分

牟礼地区生活道路緊急安全対策事業費 10,812,000円

【財源内訳】

都支出金	1,970,000円	一般財源	4,456,640円
------	------------	------	------------

5 北野一丁目けやき並木の保全 118,056,000円 103,842,144円

＜北野一丁目けやき並木保全事業費＞

北野ハピネスセンター付近における市道第140号線沿道のけやき並木を保全するため、西側のけやき並木の一部用地を取得するとともに取得箇所の簡易舗装を行いました。

〔実績・内容〕

用地取得 338.61㎡

整備工事 樹木の伐採・伐根、簡易舗装

【財源内訳】

都支出金	44,000,000円	市債	40,000,000円
------	-------------	----	-------------

一般財源	19,842,144円
------	-------------

6 宮下橋の架け替えに向けた企業管移設工事の実施 141,549,619円 58,691,544円

〔うち令和3年度からの繰越分 16,600,000円 16,600,000円〕

＜橋梁架替事業費、同事業費（繰越明許費執行額）＞

昭和25年しゅん工の宮下橋について、「三鷹市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき架け替えを行い、安全・安心な道路ネットワークを確保するため、架替工事に支障となる企業管（電気）の移設を行いました。その後実施予定のガス管の移設については、東京都が橋付近の玉川上水側道部を緊急工事することとなり、工事場所が競合し、年度内の完了が困難になったことから、繰越明許費を設定のうえ、緊急工事終了後の令和5年度に実施することとしました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔繰越明許費繰越額〕

令和5年度への繰越分

橋梁架替事業費 76,631,000円

【財源内訳】

都支出金	17,000,000円	繰越金	11,600,000円
市債	17,000,000円	一般財源	13,091,544円

7 禅林寺通り第4駐輪場の開設 1,440,000円 1,440,000円

＜自転車等駐車施設管理運営費＞

平成29年度に策定した「三鷹市駐輪場整備運営基本方針」に基づき、禅林寺通り第4駐輪場を開設し、大型自転車駐輪のための思いやりゾーン、原付一時利用を新設し駐輪環境の向上を図りました。

〔実績・内容〕

所在地 下連雀三丁目38番16号

開設時期 令和4年4月7日（木）

収容台数 自転車一時利用 88台 原付一時利用 4台
原付定期利用 9台

利用料金 一時利用 自転車：24時間200円と8時間100円の2種類
原付：8時間200円
定期利用 原付：月額5,500円

管理方法 株式会社まちづくり三鷹による指定管理

8 みたかバスネットの抜本的な見直し 28,715,216円 27,616,214円

＜地域公共交通活性化協議会関係費、コミュニティバス関係費＞

令和4年10月24日から井の頭地区で小型EV車両、大沢地区でAIデマンド交通を使用した実証運行を開始するとともに、「三鷹市コミュニティ交通実証運行評価・検討委員会」を立ち上げ、実証運行の評価・検証を実施しました。

コミュニティバス「三鷹台・調布飛行場ルート」については、運行間隔を見直し、「三鷹台・杏林大学ルート」として運行を開始しました。

また、様々な交通の組み合わせ等により誰もが移動しやすい交通ネットワークの全体的な方向性をとりまとめるため、「三鷹市交通ネットワーク全体構想研究会」を立ち上げ、「三鷹市交通ネットワーク全体構想（検討案）」を取りまとめました。

【財源内訳】

都支出金	15,791,000円	一般財源	11,825,214円
------	-------------	------	-------------

■小型EV車両（井のバス）



■AI デマンド交通車両（めぐり号、ほたる号）



9 三鷹駅南口駅前広場等の交通環境改善に向けた取組 942,028円 770,000円

＜三鷹駅南口駅前広場交通対策関係費＞

天候や時間帯等により、三鷹駅南口駅前広場で車両混雑が生じていることから、交通管理者と協議を行い、令和4年7月より朝の時間帯に中央通りにタクシーが進入できるよう交通規制の変更を行いました。また、広場外でのバス降車場等の設置に向け、JR東日本が所有している線路沿い駐輪場部分の活用について検討を行いました。

10 タクシー事業者継続支援事業の実施 25,709,000円 22,023,310円

＜タクシー事業者継続支援事業費＞

コロナ禍において原油価格高騰に直面したタクシー事業者に対して、事業活動の継続を支援し、市民の日常生活における移動手段を確保するため、給付金を支給しました。

【実績・内容】

対象者 道路運送法第4条第1項の許可を受けて一般旅客自動車運送事業を行う者のうち、個人では住所、法人では本社又は営業所を市内に有するタクシー事業者

給付額 ・タクシー事業者(法人・介護) 24,000円×車両数
 ・タクシー事業者(個人) 30,000円×車両数
 ※1事業者(法人・介護) 当たり上限100万円、車両数は令和4年7月1日時点

給付実績 ・タクシー事業者(法人・介護) 13,840,000円
 ・タクシー事業者(個人) 8,160,000円

【財源内訳】

国庫支出金 16,788,000円 一般財源 5,235,310円

令和4年度に取り組んだ主な道路・橋梁等の整備



【道路橋梁費】

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ①市道第469号線 | 生活関連経路におけるバリアフリー化の推進 |
| ②三鷹駅南口ペDESTリアンデッキ | 三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの改修 |
| ③三鷹台駅前広場 | 三鷹台駅前広場の整備の推進 |
| ④牟礼地区生活道路 | 牟礼地区生活道路緊急安全対策の推進 |
| ⑤北野一丁目けやき並木 | 北野一丁目けやき並木の保全 |
| ⑥宮下橋 | 宮下橋の架け替えに向けた企業管移設工事の実施 |

【都市計画費】

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ⑦都市計画道路3・4・13号 | 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進 |
| ⑧都市計画道路3・4・7号 | 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進 |

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

都市計画費

1 地域特性を踏まえた景観づくり 1,000,000円 990,000円

＜景観づくり支援事業費＞

「緑と水の公園都市」の実現に向けて、東八道路沿道を対象として、市の骨格となる連続した緑とにぎわいを感じさせる三鷹らしい景観づくりを進めるため、沿道における緑化空間の整備や壁面緑化・屋上緑化など具体的なイメージを示した景観ガイドラインを策定しました。

2 用途地域等の見直し 9,239,000円 5,940,000円

＜都市計画事業運営費＞

良好な都市環境を形成し、地域特性にあわせた土地利用を誘導するため、特定生産緑地の指定や用途地域等の見直しを進めました。

〔実績・内容〕

- ・特定生産緑地の指定（116,350㎡）
- ・令和6年度の用途地域等の一括変更等の都市計画変更に向けた説明会の開催及び原案の作成
- ・令和4年度に実施した三鷹台駅前広場周辺及び三鷹台駅前通り沿道の都市計画変更等を反映した都市計画図の作成

3 東京外かく環状道路整備に伴うまちづくりの推進 18,422,000円 18,002,829円

＜東京外かく環状道路計画調査研究関係費、安全・安心のまちづくり連絡協議会関係費、北野情報コーナー関係費＞

令和2年10月に調布市で発生した陥没により、東京外かく環状道路の整備は長期化が見込まれることから、令和3年度に引き続き、中央ジャンクション（仮称）周辺のまちづくりに重点を置いた取組を進めました。

〔実績・内容〕

- ・北野の里（仮称）まちづくりに向けた調査研究
 良好な緑と農とコミュニティを活かすまちづくりを推進するため、グリーンインフラ等の検討を行いました。
- ・地域主体のまちづくりの推進
 北野情報コーナーを活用し、コミュニティ活性化に係る地域と連携したイベントや、地域の課題を話し合うラウンドテーブル形成に向けた支援等により、地域主体のまちづくりを推進しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- ・都市農地保全に向けた農地の実証実験

「都市農地の保全等に関するパートナーシップ協定」に基づき、市民参加による農地機能の維持・向上や、農を介した地域コミュニティ形成等の検証を目的として、国有地等において実証実験を行いました。

4 道路愛称名標識の多言語化の実施 14,837,000円 12,540,000円

＜案内・サイン多言語化事業費＞

三鷹市を訪れる外国人が観光しやすく、三鷹市在住の外国人も暮らしやすい魅力的なまちづくりを推進するため、4年計画の2年目として、道路愛称名標識の多言語化を行いました。実施に当たっては、公益財団法人東京観光財団の「区市町村観光インフラ整備支援補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

道路愛称名標識 29基（撤去新設）

【財源内訳】

諸 収 入	5,700,000円	一 般 財 源	6,840,000円
-------	------------	---------	------------

5 都市デザインアドバイザーを活用したまちづくり 1,277,000円 50,000円

＜都市デザインアドバイザー関係費＞

都市デザインアドバイザーの建築家隈研吾氏よりまちづくりに関する助言等を得ながら、「緑と水の公園都市」を基礎とした魅力的なまちづくりを進めています。令和4年度は、市が検討を進めている「三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業」、「東八道路沿道のまちづくり」及び「国立天文台周辺のまちづくり」について助言をいただきました。

6 立地適正化計画の策定 4,411,000円 3,575,000円

＜立地適正化計画策定関係費＞

将来にわたる持続可能なまちづくりの実現に向けて、居住機能や都市機能（医療・福祉・商業等）の立地を適切に誘導するため、立地適正化計画の策定に着手しました。令和6年度の計画策定に向け、人口や高齢化等の現状と推移、都市機能の立地状況、災害リスクなどを調査、分析するとともに、課題の抽出を行いました。

〔債務負担行為の内容〕

立地適正化計画策定支援業務委託事業 3,575,000円

（令和5年度＜債務負担分＞7,865,000円 全体事業費11,440,000円）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	1,400,000円	都支出金	893,000円
一般財源	1,282,000円		

7 三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進 6,359,000円 2,750,000円

＜三鷹台駅前周辺地区まちづくり事業費＞

令和4年度は、令和3年度設立の「三鷹台駅前周辺地区のまちづくりを考える会」のメンバーを中心にワークショップ等を開催し、今後の目指すべきまちの将来像（まちづくりビジョン）の取りまとめに向けた方向性を検討しました。

また、駅舎への昇降施設の設置について、関係機関との協議等により課題を確認するとともに、駅前地区の協同ビル化に関する検討を行いました。

8 国立天文台と連携したまちづくりの推進 13,000,000円 0円

＜国立天文台連携まちづくり事業費＞

国立天文台北側敷地の土地利用転換を契機とし、天文台の森を次世代につなぐ学校を核とした新たな地域づくりを目指し、大沢地域・天文台と協働のまちづくりを進めました。令和4年度は、6月にまちづくりの目標や方向性をまとめた

「国立天文台周辺地域土地利用基本方針」を策定し、各学校や市民向けの説明会を実施しました。また、年度内に「国立天文台周辺地域土地利用基本構想」を策定する予定でしたが、自然環境調査及び遺跡試掘調査を踏まえた最適な土地利用範囲を検討した上で、ゾーニング案や整備予定スケジュールを基本構想に盛り込むこととしたことから、前倒しで自然環境調査に着手するとともに、基本構想については、令和5年度に策定することとしました。

〔債務負担行為の内容〕

国立天文台自然環境調査委託事業

（令和5年度＜債務負担分＞14,850,000円）

〔繰越明許費繰越額〕

令和5年度への繰越分

国立天文台連携まちづくり事業費 13,000,000円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
9 井口特設グラウンド利活用の検討 <井口特設グラウンド周辺まちづくり事業費>	9,229,000円	9,229,000円
<p>防災都市づくり及び都市経営の観点などから土地利用の検討を進めました。令和4年度は、現況調査や測量等を実施したほか、土地利用の基本的な方向性などをまとめた「井口特設グラウンド土地利用構想」を策定しました。構想の策定に当たっては、地元説明会等を開催したほか、医療機関の誘致に向けた検討を進めました。</p> <p>[井口特設グラウンド土地利用の基本的な方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災拠点の形成（一時避難場所の確保、グラウンドの整備） ・市内の医療体制の充実（医療機関の誘致、地域住民の健康づくり） ・地域の交通利便性の向上（東西通路の確保、地域交通拠点の整備） 		
10 三鷹駅前地区再開発の推進	7,071,000円	3,802,870円
<三鷹駅前地区再開発事業運営費、三鷹駅南口中央通り東地区市街地再開発事業費> <p>三鷹駅前地区（約17ha）において、安全で快適な魅力あふれる質の高いまちづくりを推進するため、「三鷹駅前地区まちづくり基本構想」を策定するとともに、三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業（約1.5ha）について、市の方針をまとめた「“子どもの森”基本プラン」を策定しました。一方、地権者等との合意形成については、引き続きUR都市機構と連携して取り組み、早期の都市計画決定を目指していきます。</p> <p>[実績・内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三鷹駅前地区まちづくり基本構想」の策定 <p>これまでの「三鷹駅前地区再開発基本計画」の考え方を継承しつつ、にぎわいや緑化空間の創出、大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症などの対策を含めた防災・減災への取組などの新たな視点を加え、三鷹駅前地区のまちづくりに関する今後の基本的な方向を示すものとして、令和5年2月に策定しました。</p> ・「“子どもの森”基本プラン～三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業～」の策定 <p>「三鷹駅前地区まちづくり基本構想」における重点事業の一つである三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業（約1.5ha）について、市の方針（事業区域、施設機能、施設配置など）をまとめた「“子どもの森”基本プラン」を令和5年2月に策定しました。</p> 		

■三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業のイメージ



11 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進 178,104,000円 164,377,162円

＜都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備事業費＞

三鷹都市計画道路3・4・13号の人見街道から連雀通りまでの区間（約466m）を整備するため、令和4年度は用地（336.66㎡）の取得を行いました。また、令和5年度に着手を予定している、電線共同溝整備及び街路築造工事の設計を行いました。

※令和4年度末の取得面積及び取得率 7,118.57㎡（98.55%）

【財源内訳】

国庫支出金	57,500,000円	都支出金	28,750,000円
一般財源	78,127,162円		

12 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進 147,461,000円 111,232,300円

＜都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備事業費＞

連雀通りの八幡前交差点から下連雀七丁目交差点付近までの区間（約235m）について、東京都の「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用した北側拡幅部分の電線共同溝整備及び街路築造工事に着手しました。本工事は令和4年度からの2年計画で実施しているため、令和5年度も引き続き実施していきます。

〔債務負担行為の内容〕

都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備事業 98,860,000円

（令和5年度＜債務負担分＞65,920,000円 全体事業費164,780,000円）

【財源内訳】

都支出金	55,046,191円	一般財源	56,186,109円
------	-------------	------	-------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

13 借地公園の公有地化の推進 182,713,100円 182,699,835円

＜児童遊園整備事業費＞

公有地化を図るため、児童遊園等の公園用地を取得しました。

〔実績・内容〕

新川天神山青少年広場（4か年計画の3年目）

所在地 新川二丁目

取得面積 1,110㎡

【財源内訳】

国庫支出金	39,000,000円	都支出金	65,311,000円
一般財源	78,388,835円		

14 インクルーシブ遊具の整備 12,586,597円 11,000,000円

＜児童遊園整備事業費、三鷹中央防災公園管理関係費＞

市民に親しまれ魅力ある公園づくりを目指して、ハンディキャップの有無に関わらず、あらゆる子ども達が楽しめるインクルーシブ遊具の整備を行いました。令和4年度はモデル事業として、三鷹台児童遊園と三鷹中央防災公園にインクルーシブ遊具を設置し、アンケート等を実施して利用頻度や安全性について検証しました。

【財源内訳】

都支出金	5,500,000円	一般財源	5,500,000円
------	------------	------	------------

■三鷹台児童遊園



■三鷹中央防災公園



令和4年度に取り組んだ主な公園の整備



【都市計画費】

- | | |
|-------------|--------------|
| ①新川天神山青少年広場 | 借地公園の公有地化の推進 |
| ②三鷹台児童遊園 | インクルーシブ遊具の整備 |
| ③三鷹中央防災公園 | インクルーシブ遊具の整備 |

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

住宅費

1 空き家等実態調査の実施 12,153,719円 9,217,322円

＜民間建築物等管理適正化関係費＞

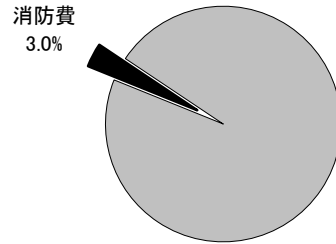
「三鷹市空き家等対策計画」に基づき、空き家等の適正管理の推進及び管理不全の予防に努めました。令和4年度は、令和5年度に行う空き家等所有者の意向調査に向け、市内全域の建築物を対象に外観目視等による空き家等の実態調査を実施し、608件の空き家等を確認しました。調査結果を踏まえて、空き家情報管理システムの更新を行いました。

【財源内訳】

<u>都 支 出 金</u>	<u>3,723,000円</u>	<u>諸 収 入</u>	<u>1,000,000円</u>
<u>一 般 財 源</u>	<u>4,494,322円</u>		

第9款 消防費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	2,343,464	2,246,624	310,216	0	1,331	1,935,077	95.9%
令和3年度	2,383,303	2,333,220	251,538	0	1,300	2,080,382	97.9%
増△減	△39,839	△86,596	58,678	0	31	△145,305	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

消防費

1 消防団員報酬の見直し

45,456,000円

37,503,800円

〈消防団運営費〉

新たに出勤報酬を創設するなど報酬体系を見直し、消防団員の処遇改善を行うことで、地域防災力の維持向上を図りました。

〔実績・内容〕

	改正前	改正後
待機報酬	出勤の有無にかかわらず、待機実績に応じて手当を支給 団長、副団長 1,130円/日 その他団員 920円/日	廃止
特別出勤報酬	特別に出勤した場合に支給 1,540円/回	廃止
機関員報酬	消防自動車の運転を行う団員に支給 510円/月	廃止
出勤報酬		出勤種別に応じ支給 ・災害活動 ※1 8,000円/日 ・訓練出勤 3,000円/日 ・その他消防団長が命じた出勤 ※2 3,000円/日
団員報酬	階級による月額報酬（改正なし）	

※1 3時間以内の出勤は3,000円/日、出火報発令に伴う詰所待機及び誤報となった出勤は1,500円/日、8時間を超えて出勤した際は1時間までを増すごとに1,000円加給

※2 春・秋の火災予防運動、歳末特別警戒などの警戒活動、防災授業等の出勤

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
2 消防団員の準中型自動車免許取得に係る経費の助成	500,000円	388,800円
＜消防団運営費＞ 消防ポンプ自動車を運転できる団員を継続的に確保するため、準中型免許の取得に係る経費を助成し、消防団活動の安定的な運営を図りました。		
〔実績・内容〕 対象者 平成29年3月12日以降に普通免許を取得しており、消防団での活動状況が良好、かつ準中型免許取得後も活動を行う見込みであることを所属する分団の分団長が認め推薦する者 対象経費 講習経費、免許証交付手数料、追加技能講習料 利用実績 2人		
3 三鷹台駅前周辺地区の防災機能の強化	9,156,000円	9,075,000円
＜消防施設整備費＞ 「三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針」に基づき整備を進めている三鷹台駅前広場において、地域からの要望等を踏まえ、防火貯水槽（40 t）を設置し、周辺地域の防災機能の強化を図りました。		
〔関連事業費〕 土木費 三鷹台駅前広場の整備の推進 75,371,669円（149ページ参照）		
【財源内訳】 都 支 出 金 7,187,000円 一 般 財 源 1,888,000円		
4 消防ポンプ自動車の更新	19,996,000円	19,965,000円
＜消防施設整備費＞ 地域の消防力の強化を図るため、購入後16年を経過する消防団第十分団の消防ポンプ自動車を更新しました。		
【財源内訳】 都 支 出 金 15,813,000円 一 般 財 源 4,152,000円		
5 避難所備蓄資機材の拡充による被災者支援対策の強化	7,287,000円	7,286,400円
＜災害対策備蓄等整備事業費＞ 避難所生活に必要な資機材として避難所に配備している発電機のうち、経年劣化が著しい発電機（32台）について、スマートフォン等の精密機器の充電にも対応するため、電圧や周波数を一定に保つことができる正弦波インバーター付きの発電機に更新し、被災者支援の強化を図りました。		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

6 地域の共助の強化等による防災力の向上 2,054,000円 1,903,393円
 ＜災害時在宅生活支援施設整備事業費＞

災害時に在宅で被災生活を行う市民を支援するため、中原もみじ防災公園（中原一丁目）に炊き出し用設備やスタンドパイプ等を配備しました。

7 防災NPO組織の設立 9,393,500円 8,813,339円
 ＜地域防災活動支援組織関係費＞

地域における防災活動の充実・強化を目的として、各地域防災活動団体のネットワーク化を支援する役割を担う「Mitakaみんなの防災」を令和4年9月に設立し、防災の意識啓発や情報提供を中心とした活動を開始しました。令和4年度は、設立記念イベントとして「みたか防災マルシェ2022」を開催したほか、法人化に向けた諸手続きを行い、令和5年3月に法人化しました。

〔実績・内容〕

「みたか防災マルシェ2022」の開催

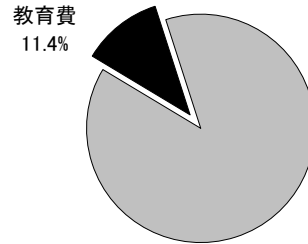
開催日	令和4年9月10日（土）～11日（日）
内容	VR防災体験車の乗車体験、模擬避難所体験、市内で活動する防災関係団体によるワークショップや展示等
会場	元気創造プラザ・SUBARU総合スポーツセンター
来場者数	2,650人（2日間合計）

■ 「みたか防災マルシェ2022」



第10款 教育費

■一般会計に占める割合



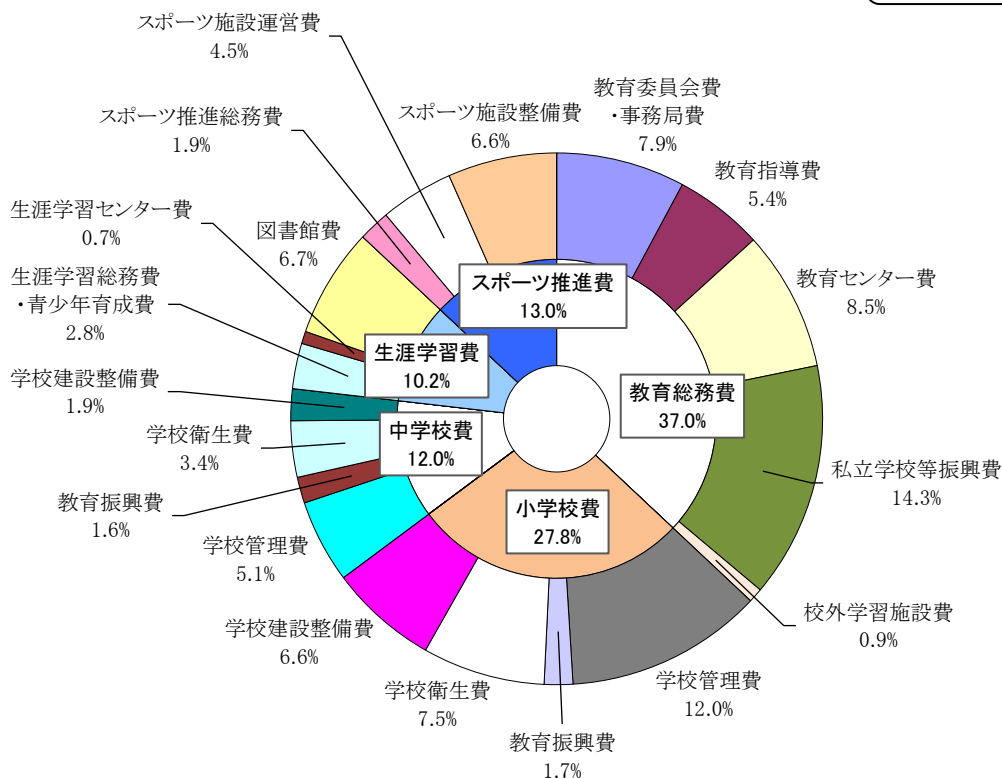
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	9,484,894	8,702,132	1,524,116	349,000	719,331	6,109,685	91.7%
令和3年度	8,565,659	7,904,497	1,287,473	333,400	262,401	6,021,223	92.3%
増△減	919,235	797,635	236,643	15,600	456,930	88,462	—

決算額項別目別構成比

内円：項
外円：目



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

教育総務費

1 学校給食用食材の放射性物質検査の実施 387,000円 386,730円

＜学校給食関係費（事務局費）＞

児童・生徒や保護者の一層の安心のため、給食用食材の放射性物質検査を全市立小・中学校で実施（各校1回）し、いずれも放射性物質は検出されませんでした。

〔実績・内容〕

検査日	令和4年6月29日～7月7日	令和4年12月6日～8日
検査対象校	小学校（9校）、中学校（4校）	小学校（6校）、中学校（3校）
検査品目	検査対象校の児童及び生徒に提供した給食一食分（牛乳を含む）	検査対象校の児童及び生徒に提供した給食一食分（牛乳を含む）

2 学校給食の食材費高騰分の支援 41,878,000円 38,179,050円

＜学校給食関係費（事務局費）＞

原油価格・物価高騰の影響による小中学校の給食への負担を軽減し、栄養バランスや量を保った学校給食を引き続き実施するため、令和4年7月より食材費の高騰分8%について支援を行いました。

【財源内訳】

国庫支出金	12,563,000円	一般財源	25,616,050円
-------	-------------	------	-------------

3 学校給食の充実と効率的な運営の推進 628,782,000円 628,276,244円

＜給食調理業務委託化等関係費、学校給食関係費（小学校費・中学校費）＞

学校給食の充実と効率的な運営を推進するため、新たに第三中学校で自校方式による学校給食調理業務の民間委託を実施し、委託校は21校となりました。

また、令和5年度から新たに委託を開始する第五小学校と、5年目の更新時期を迎える第七小学校、第二中学校について、プロポーザル方式による選考を実施し、事業者を決定しました。令和5年度をもって、全市立小・中学校での委託化が完了します。

〔債務負担行為の内容〕

学校給食調理業務委託事業

第五小学校（令和5年度＜債務負担分＞28,908,000円）

第七小学校（令和5年度＜債務負担分＞25,476,000円）

第二中学校（令和5年度＜債務負担分＞28,708,680円）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 学校給食費の公会計化と学校徴収金の一括徴収による事務の効率化

〈公会計化関係費〉 11,440,000円 4,601,300円

国の「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」に基づき、市立小・中学校の学校給食費の管理における透明性の向上と適正な債権管理を図るため、令和5年度からの学校給食費の公会計化制度の導入に向けて準備を進めました。合わせて、学校における働き方改革の推進及び保護者の負担軽減を図るため、学校給食費と学校徴収金を一括徴収できる体制を整備しました。

〔債務負担行為の内容〕

学校給食公会計化事業 4,601,300円

(令和5年度＜債務負担分＞18,784,700円 全体事業費23,386,000円)

5 小中学校でのPCR検査の支援 7,458,000円 654,214円

〈PCR検査助成事業費〉

令和3年度に引き続き、小中学校において、児童・生徒及び教職員等が感染した場合、濃厚接触者等に該当しなくても感染の不安を感じている児童・生徒や教職員等に対して、PCR検査費用の助成を行うとともに、速やかに検査が受けられるよう、検査キットを各校及び教育センターに配備しました。

〔実績・内容〕

(1) 医療機関が実施する任意のPCR検査への助成

対象者 医療機関が実施する任意のPCR検査を実施した方のうち、以下の要件を満たす方

- ・感染が発生した学級の児童・生徒、教職員等
- ・濃厚接触者等に該当しないこと
- ・検査を希望し、かつ学校が必要と認める場合

対象施設 全市立小・中学校

対象期間 感染が発生してから概ね2週間以内

補助額 検査費用を対象に上限2万円

利用実績 0人

(2) 小中学校等におけるPCR検査キットの導入

対象者 (1)と同様

配備施設 全市立小・中学校及び教育センター

利用方法 唾液の自己採取による検査

利用実績 0人

〔関連事業費〕

民生費 保育施設及び幼稚園等でのPCR検査の支援 52,786円

(110ページ参照)

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	192,214円	一般財源	462,000円
-------	----------	------	----------

6 部活動指導員の拡充 28,959,000円 16,412,056円

＜部活動指導関係費＞

学校部活動の地域連携の一環として、令和3年度に引き続き、東京都の補助金を活用し、子どもたちが専門的な技術指導を受けることができる部活動指導員を配置するとともに、市の単独事業により休日の部活動の指導に係る部活動指導員を新たに配置し体制を拡充しました。

〔実績・内容〕

- ・拡充前 各校3人ずつ、1人当たり平日4日各2時間、土日どちらか3時間など週13時間
- ・拡充後 各校3人ずつ、1人当たり平日4日各2時間、土日どちらか3時間など週13時間
各校1人ずつ、1人当たり土日どちらか3時間（41日分）、7.5時間（3日分）

〔関連事業費〕

教育費 スクール・コミュニティの実現に向けた学校3部制のモデル実施
25,313,920円（169ページ参照）

【財源内訳】

都支出金	7,450,000円	一般財源	8,962,056円
------	------------	------	------------

7 スクール・コミュニティの実現に向けた地域学校協働活動の推進

＜コミュニティ・スクール関係費＞

2,466,000円 2,213,973円

スクール・コミュニティの創造に向けて、地域学校協働活動の更なる推進を図るため、学校の活動・支援に関する新たな体制のモデル的な構築などに取り組みました。

〔実績・内容〕

- ・地域学校協働本部機能を担う新体制のモデル構築と補助制度の創設
コミュニティ・スクールにおける支援や活動に関する新たな実施体制として、地域学校協働活動を推進する団体を3学園（連雀学園、にしみたか学園、鷹南学園）に設置しました。また、当該団体に対して補助制度を構築し、学校と地域をつなぐための主体的な活動を支援しました。
- ・スクール・コミュニティカレンダーの発行
学校を核とした地域づくりをより一層推進するため、名称を「学園カレンダー」から「スクール・コミュニティカレンダー」に変更するとともに、広く地域に配布しました。

8 スクール・コミュニティの実現に向けた学校3部制のモデル実施

＜学校3部制モデル事業費＞

26,291,000円

25,313,920円

スクール・コミュニティの創造に向け、地域の共有地「コモンズ」としての学校への移行を目指し、学校3部制の実現を通じた地域・子どもの居場所づくりを進めるため、学校3部制の実現に向けた制度設計の検討と環境整備に取り組みました。また、新しい放課後の創造に向けた取組として、地域における放課後プログラム事業に取り組みました。実施に当たっては、東京都の「子供・長寿・居場所区市町村包括補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

(1) 学校3部制に向けた制度設計の検討と環境整備

・学校3部制の制度設計に向けた調査研究

現地視察やヒアリングによる詳細な事例調査を行い、学校3部制に向けて参考となる学校施設の活用について先行事例等を報告書にとりまとめました。また、市民を対象に「夜間・休日の学校施設の利用についてのアンケート調査」を実施し、学校3部制に対する考えや利用ニーズ等を調査しました。

・普通教室の機能転換

学校の普通教室を放課後等の時間に機能転換して活用できるよう、第二小学校（4教室）、第三小学校（1教室）、井口小学校（2教室）にシャッター付きロッカーを整備しました。

・サテライト職員室の整備

第六小学校の応接室をサテライト職員室として整備し、教員同士や地域との協働を促進する場づくりを進めました。

(2) 多様で豊かな「新しい放課後」の創造に向けた取組

・放課後プログラム事業「みたかジュニアビレッジ」

第四中学校における地域が運営する中学生の放課後活動を支援しました。中学生が地域の専門家や大学生等の支援を受けながら、さつまいもの栽培、収穫、収穫物を使った商品開発、販売、収支報告等を実践しました。

〔関連事業費〕

総務費 学校3部制基本プランの策定に向けた取組 0円（80ページ参照）

教育費 部活動指導員の拡充 16,412,056円（168ページ参照）

教育費 地域子どもクラブ事業の拡充と児童の安全対策に向けた取組

65,557,591円（182ページ参照）

【財源内訳】

都支出金 21,684,000円

一般財源 3,629,920円

■第三小学校に整備したシャッター付きロッカー



9 医療的ケアが必要な児童・生徒への支援 13,776,000円 7,119,310円

＜教育活動支援員等関係費＞

医療的ケアが必要な児童・生徒への看護を行うため、看護師を2校に配置しました。実施に当たっては、国の「教育支援体制整備事業費補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

実施校 東台小学校、第三中学校

内 容 胃ろうによる経管栄養、たんの吸引 など

【財源内訳】

国庫支出金	2,373,000円	一般財源	4,746,310円
-------	------------	------	------------

10 発達障がい等教育支援員の配置 9,394,000円 5,904,876円

＜教育活動支援員等関係費＞

発達障がい等の支援を要する子どもたちが、安心して円滑に在籍学級での学習を継続できるように、発達障がい等教育支援員を5校に配置しました。実施に当たっては、東京都の「特別支援教育推進補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

実施校 第三小学校、第七小学校、井口小学校、東台小学校、羽沢小学校

対 象 校内通級教室での指導を終了した発達障がい等の支援を要する児童

【財源内訳】

都支出金	1,531,000円	一般財源	4,373,876円
------	------------	------	------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
11 教員の授業力向上への支援と共同研究の実施	3,000,000円	3,000,000円
＜探究的教育関係費＞		
<p>教員自らが職業実践を通じて幸せ（ウェルビーイング）を実現できるように、授業に関する実践的な調査研究を行うなど、教員の授業力向上への支援を図りました。調査研究については、株式会社探究学舎と連携し、子どもの「興味開発」に特化した授業を共同で研究しました。</p>		
<p>〔実績・内容〕</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの最適な学び方、学力の伸びなどの分析や指導法などの調査研究 <ul style="list-style-type: none"> 各校の学力テストの結果を研究主任会で分析し、課題解決に向けた取組内容を協議しました。 ・民間の教育機関との共同研究 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から授業づくりについて共同で研究を行っている株式会社探究学舎と令和4年6月に協定を締結し、共同により「興味開発」に特化した探究的な学びの授業研究やデジタル技術の活用等の研究及びその成果発表会を開催するとともに、成果発表会のアーカイブを全市立小・中学校に配信しました。 成果発表会参加者数 329人 		
12 市内産農産物の活用に向けた食育研究の実施	383,000円	193,087円
＜食育推進事業費＞		
<p>学校給食において、研究校を3校指定し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣等が身に付く食育を推進しました。</p>		
<p>〔実績・内容〕</p>		
<p>対象校 三鷹中央学園の3校（第三小学校、第七小学校、第四中学校）</p>		
<p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家のアドバイスを受けながら、地域で収穫された野菜を中心に児童・生徒によるメニュー開発 ・開発したメニューの一部を給食として提供 ・研究の報告と家庭での食育を推進するための講演会の開催（学園として計1回） 		
<p>〔関連事業費〕</p>		
<p>農林費 市内産農産物の活用促進に向けた取組</p>	9,852,095円	
		(138ページ参照)

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

13 人権尊重教育推進校事業の実施 357,000円 335,397円

＜人権尊重教育推進校事業費＞

人権尊重教育を推進するため、第六中学校において、4つの分科会を設置し、分科会ごとに専門家を講師とした校内研修会や実地研修に取り組みました。また、市内の中学校や地域の方向けに発表会を実施し、研究成果の普及を図りました。実施に当たっては、東京都の「人権尊重教育推進校事業委託金」を活用しました。

〔実績・内容〕

分科会の構成 環境分科会、授業分科会、特別活動①（学級における指導）分科会、特別活動②（生徒会活動における指導）分科会

【財源内訳】

都支出金 335,397円

14 授業改善推進拠点校事業の実施 400,000円 362,032円

＜授業改善推進拠点校事業費＞

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を目指して、第五中学校において、令和3年度に開発・実践した効果的な分析方法・指導方法を踏まえ、全教員が4つのプロジェクトチームに分かれ、生徒一人ひとりの学力向上に向けた教科指導の方法や学年での取組内容について調査・研究しました。実施に当たっては、東京都の「授業改善推進拠点校事業費補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

プロジェクトチームの活動内容

・分析チーム

生徒の学力向上を図るための調査の効果的な分析方法の開発・実践

・OJTチーム

授業改善の実現に向けた組織的なOJTの推進

・学びに向かう力チーム

生徒一人ひとりの学びに向かう力等を育む指導方法の開発・実践

・家庭学習チーム

効果的な家庭学習の指導事例の開発

【財源内訳】

都支出金 362,000円 一般財源 32円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<p>15 デジタル・シティズンシップ教育の展開</p> <p>3,247,000円 3,170,800円</p> <p>＜デジタル・シティズンシップ教育関係費、教育ネットワーク管理運営費＞</p> <p>児童・生徒がデジタル機器を有効に使用できるように、デジタル・シティズンシップ（情報技術の利用における適切で責任ある行動規範）教育を推進しました。</p> <p>〔実績・内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三鷹市デジタル・シティズンシップ育成指針」の作成 <ul style="list-style-type: none"> 子どもと大人との熟議を通して、それぞれの立場からよりよい使い手となるための行動宣言を発表するとともに、その宣言を踏まえて「三鷹市デジタル・シティズンシップ育成指針」を作成しました。 ・情報モラル教材の導入 <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒用の学習用タブレットに情報モラル教材「Netモラル」を導入し、授業等で活用することで、情報モラル教育の充実を図りました。 		
<p>16 文化プログラム・学校連携事業の実施</p> <p>1,600,000円 1,599,820円</p> <p>＜文化プログラム・学校連携事業費＞</p> <p>芸術・文化の鑑賞や体験等の取組を通じて、子どもたちの感性を育むとともに、様々な文化に対する理解を深めるため、芸術団体等と連携した文化プログラム事業を実施しました。実施に当たっては、東京都の「文化プログラム・学校連携事業委託金」を活用しました。</p> <p>〔実績・内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井口小学校（広域活動団体型） <ul style="list-style-type: none"> 弦楽四重奏鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 令和5年2月21日（火） 場 所 井口小学校体育館 連携団体 クライス音楽事務所 オーケストラ鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 令和5年2月22日（水） 場 所 三鷹市芸術文化センター風のホール 連携団体 クライス音楽事務所 		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- ・南浦小学校（地域連携型）
 - 伝統音楽鑑賞・体験（ウクレレ）
 - 開催日 令和4年9月2日（金）～30日（金）（全5回）
 - 場 所 南浦小学校音楽室・体育館
 - 連携団体 Ukulele★Paradise
 - 伝統音楽鑑賞・体験（和太鼓）
 - 開催日 令和5年2月22日（水）
 - 場 所 南浦小学校体育館
 - 連携団体 和太鼓「暁」
- ・第二中学校（地域連携型）
 - 茶道学習・体験
 - 開催日 令和4年7月7日（木）、8日（金）
 - 場 所 第二中学校集会室
 - 連携団体 にしみたかお茶クラブ

【財源内訳】

都 支 出 金 1,599,820円

17 体育健康教育推進事業の実施 500,000円 499,551円

＜体育健康教育推進校事業費＞

効果的な体育健康教育の推進に向けた取組を研究・開発し、その成果を広く発信するため、第六小学校において、授業の改善や運動習慣の定着に向けた取組を進めました。また、東京都小学校体育研究会が開催した研究発表大会に参加し、研究成果の普及を図りました。実施に当たっては、東京都の「体育健康教育推進校事業委託金」を活用しました。

〔実績・内容〕

- ・授業（体育科）での取組
 - 学年ごとに研究テーマを設定し、学習用タブレット端末により、運動中の動画を撮影することで、課題や発見に向けた取組を推進しました。
- ・休み時間での取組
 - お昼休みの時間（30分）を体育的活動（六スポ）を行う時間と設定して、年間20回、さまざまな遊びや運動をすることで、学校全体としての運動の日常化に向けた取組を進めました。

【財源内訳】

都 支 出 金 499,551円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
18 教育ネットワークシステムの更新	38,757,000円	38,500,000円
＜教育ネットワーク管理運営費＞ 令和5年度で契約期間が満了となる教育ネットワークシステムの更新に向け、セキュリティを確保しながら、一部機能をクラウド環境へ移行するなど利便性の向上を踏まえた基本設計を行い、学校外からも利用可能なモバイル端末を含めたサーバ機器等の調達等の事業者選定を行いました。 [債務負担行為の内容] 教育ネットワークシステム利用料 38,500,000円 (令和5～10年度＜債務負担分＞1,416,768,760円 全体事業費1,455,268,760円)		
19 短焦点プロジェクタ等の設置による教育環境の整備	20,252,830円	18,091,700円
＜教育ネットワーク管理運営費＞ 児童・生徒1人1台学習用タブレット端末の効果的な活用に向けて、電子黒板機能付き短焦点プロジェクタを教室に設置し、2学期から利用を開始しました。 [実績・内容] 設置場所 小中学校の全普通教室 事業効果 <ul style="list-style-type: none"> ・板書やグラフを事前作成できることによる授業準備の効率化 ・教材や児童・生徒の考えを瞬時に一斉提示、共有できることによる授業の効率化 等 [債務負担行為の内容] 授業支援機器等使用料 17,486,700円 (令和5～9年度＜債務負担分＞332,247,300円 全体事業費349,734,000円)		
20 学習用タブレット端末を活用した授業環境の整備	40,181,404円	37,942,165円
＜学習用端末等整備事業費＞ 児童・生徒1人1台学習用タブレット端末について、個別最適な学びの実現を推進するため、学習用タブレット端末の増設やマイク及びタブレットスタンドを設置し、授業環境の充実を図りました。また、新入生への学習用タブレット端末貸出に伴う作業を業務委託することにより、教員の負担軽減を図るとともに、教員向け研修の実施により、学習用タブレット端末の効果的活用を支援しました。実施に当たっては、東京都の「デジタル利活用支援員配置支援事業補助金」を活用しました。		

〔実績・内容〕

- ・学習用タブレット端末の増設
児童・生徒数の増、35人学級編制に伴う教職員数の増等に対応するため、学習用タブレット端末を550台増設しました。
- ・マイク及びタブレットスタンドの設置
対面とオンラインのハイブリッド型の授業環境を整備するため、全普通教室（約500教室）にマイク及びタブレットスタンドを設置しました。
- ・デジタル利活用支援員の配置
各学園に1人、デジタル利活用支援員を配置し、端末の操作方法のサポート等に加えて、授業での効果的な利活用を支援しました。
- ・端末データの入れ替え
年度末から年度始まりにかけて、児童・生徒の入学及び卒業に伴う、端末データの入れ替え作業を支援することにより、教員の負担軽減を図りました。
- ・教員向けの研修
新規採用教員を対象とした研修を実施し、学習用タブレット端末の効果的な活用を支援しました。

〔債務負担行為の内容〕

学習用端末等使用料（令和4年度分） 15,941,362円

（令和5～7年度＜債務負担分＞49,231,479円 全体事業費65,172,841円）

【財源内訳】

国庫支出金	15,187,920円	都支出金	7,168,000円
一般財源	15,586,245円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

小学校費・中学校費

- 1 校内通級教室における指導の充実 4,061,000円 3,990,593円

＜校内通級教室設置関係費（小学校費）＞

教育支援の充実を図るため、鷹南学園中原小学校及びおおさわ学園羽沢小学校を新たに校内通級教室の拠点校として整備し、小学校では7学園すべてに拠点校の設置が完了しました。全学園内で、教員が巡回することで、小・中一貫して児童・生徒の特性に応じたきめ細かな指導を行うことができる支援体制を整えました。

- 2 学校施設長寿命化計画の策定 9,000,000円 9,000,000円

＜長寿命化計画策定関係費（小学校費・中学校費）＞

学校施設の建替えを見据えた効果的・効率的な改修を進めるため、令和4年12月に、「新都市再生ビジョン」の中で「学校施設長寿命化計画」を策定しました。

〔計画の内容〕

4つの優先プロジェクトの一つとして「学校施設の整備」を位置づけ、学校施設の適切な維持保全や建替えなどを進めるための基本的な考え方や方向性・各施設の維持保全計画を示しました。

- 3 学校施設の大規模改修工事の実施 411,146,000円 378,312,000円

＜学校管理運営費（小学校費）、大規模改修事業費（小学校費・中学校費）＞

平成30年度に実施した老朽化対策調査結果を踏まえ、早急に対応が必要な箇所として、第五小学校の大規模改修工事（Ⅱ期）及び第二中学校の大規模改修工事（Ⅰ期）を実施しました。第五小学校については、森林環境譲与税等を活用し、多摩産材等を使用した木製ロッカーを10教室分（20台）導入しました。

〔関連する歳入〕

森林環境譲与税20,872,000円のうち教育費分 3,505,000円

〔関連事業費〕

民生費 森林環境譲与税を活用した公共施設木製備品導入プロジェクトの推進
24,800,000円（115ページ参照）

【財源内訳】

国庫支出金	45,326,000円	都支出金	88,005,000円
繰入金	1,500,000円	市債	213,000,000円
一般財源	30,481,000円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 学校空調設備の計画的な更新 247,005,000円 187,362,450円

＜学校空調設備整備事業費（小学校費・中学校費）＞

老朽化した空調設備の更新として、第一小学校の改修工事（Ⅰ期）及び高山小学校の改修工事（Ⅲ期）を実施するとともに、第二小学校等の特別教室等にリース方式による整備を実施しました。

〔実績・内容〕

- ・第一小学校空調設備改修Ⅰ期工事（アスベスト除去工事を含む）

142,538,000円

- ・高山小学校空調設備改修Ⅲ期工事 36,020,600円

- ・特別教室等空調設備の更新（リース方式）

令和2年度整備済み（対象1校） 587,400円

第七小学校

令和3年度整備済み（対象5校） 5,120,280円

第四小学校、中原小学校、北野小学校、羽沢小学校、第四中学校

令和4年度整備（対象12校） 3,096,170円

第二小学校、第五小学校、第六小学校、第七小学校、大沢台小学校、南浦小学校、井口小学校、第一中学校、第二中学校、第五中学校、第六中学校、第七中学校

〔債務負担行為の内容〕

学校特別教室等空調設備使用料（令和4年度分） 3,096,170円

（令和5～14年度＜債務負担分＞125,062,630円 全体事業費128,158,800円）

【財源内訳】

国庫支出金	34,439,000円	都支出金	56,000,000円
市債	84,000,000円	一般財源	12,923,450円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

5 学校トイレの改修工事の実施 114,265,000円 103,878,500円

＜学校給排水設備等整備事業費（小学校費）＞

学校トイレの早期洋式化を推進するため、第三小学校、第四小学校、第六小学校、第七小学校、大沢台小学校、南浦小学校について、老朽化の状況に応じた改修工事を実施しました。

〔実績・内容〕

第三小学校（校舎）	4,955,500円
洋式化（便器のみ交換）	等
第四小学校（校舎）	5,093,000円
洋式化（便器のみ交換）	等
第六小学校（ふじみ校舎）	11,990,000円
洋式化（便器のみ交換）	等
第七小学校（校舎・体育館）	8,250,000円
洋式化（便器のみ交換）	等
大沢台小学校（校舎Ⅰ期）	42,900,000円
洋式化、床のドライ化、バリアフリー化	等
南浦小学校（校舎Ⅰ期）	30,690,000円
洋式化（便器のみ交換）	等

【財源内訳】

国庫支出金	11,189,000円	都支出金	34,966,000円
市債	52,000,000円	一般財源	5,723,500円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

生涯学習費

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1 三鷹こ線人道橋の一部保存と調査等の実施 | 3,650,000円 | 3,648,700円 |
|-----------------------|------------|------------|

＜歴史・民俗等文化財関係費＞

太宰治にゆかりのある三鷹こ線人道橋の老朽化が進んでおり、JR東日本において撤去する方向性が示されていることから、保存方法や移設方法について、JR東日本と協議を進めました。また、令和3年度に引き続き、建造物としての歴史調査を行ったほか、映像・画像等で記録を残すとともに、3D計測データを基にヘッドセット等で閲覧できるVR（仮想現実）コンテンツを作成しました。

- | | | |
|---------------------|----------|----------|
| 2 「三鷹まるごと博物館かるた」の作成 | 462,000円 | 462,000円 |
|---------------------|----------|----------|

＜歴史・民俗等文化財関係費＞

「三鷹まるごと博物館」の見どころを、市民協働で再発見し、広く知ってもらうために、令和5年度の完成に向けて「三鷹まるごと博物館かるた」の作成に着手しました。令和4年度は、市民参加により、市内の文化財や歴史の見どころを選定し、取り句のデザイン案と多摩弁を用いた読み句案を作成しました。

- | | | |
|------------------------------|--|--|
| 3 三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」の展示と公開の拡充 | | |
|------------------------------|--|--|

＜埋蔵文化財関係費＞

	3,481,000円	3,029,480円
--	------------	------------

三鷹市域の歴史や文化財に関するパネル、模型、映像記録や出土品等を展示している三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」（教育センター2階）において、来館者の利便性向上のため、平日に加えて土曜日（第1・3・5週）に解説員を配置して公開しました。また、三鷹への郷土愛を育むため、古写真を地図や住所から選び自分の画像と合成できるコンテンツや、三鷹の歴史クイズのシステム構築など、子どもたちが三鷹の歴史・文化財を楽しみながら学ぶことができるデジタルコンテンツを作成しました。

■三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」



4 大沢の里郷土文化施設の駐車場等整備と改修工事の実施 12,332,500円 12,032,460円

＜大沢の里水車経営農家関係費、大沢の里古民家管理運営費＞

大沢の里古民家隣接用地について、令和5年度からの駐車場（5台分）等整備に向けて実施設計を行いました。また、大沢の里水車経営農家について、令和3年度に行った水車小屋の劣化調査等の結果に基づき耐震補強工事を実施したほか、令和5年度以降の計画的な工事に向けて、母屋の劣化調査等を実施しました。実施に当たっては、東京都の「文化財保存事業費補助金」を活用しました。

〔スケジュール〕

- ・ 駐車場等整備

令和4年度	実施設計
令和5年度	駐車場等整備工事
- ・ 水車経営農家

令和4年度	水車小屋の耐震補強工事、母屋の劣化調査等
令和5年度	母屋の耐震補強工事

【財源内訳】

<u>都支出金</u>	<u>4,618,000円</u>	<u>一般財源</u>	<u>7,414,460円</u>
-------------	-------------------	-------------	-------------------

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

5 地域子どもクラブ事業の拡充と児童の安全対策に向けた取組

〈地域子どもクラブ事業費〉 79,216,000円 65,557,591円

第三小学校、井口小学校で実施している地域子どもクラブにおいて、一部民間委託方式等を導入し、長期休業日も含めて毎日実施（土・日・祝日を除く）を行ったほか、井口小学校では安全・安心な子どもの居場所づくりを確保するため、入退室管理システムを導入しました。また、第五小学校、南浦小学校においても実施内容と日数を拡充しました。このほか、活動の充実を図るため、教育委員会と連携して放課後の子ども向けのプログラムを開発しました。

〔実績・内容〕

- ・ 毎日実施の開始
第三小学校、井口小学校
- ・ 実施内容と日数の拡充
第五小学校、南浦小学校
- ・ 放課後の子ども向けのプログラムの開発
工作・あそびプログラムの開発、第六小学校及び井口小学校の地域子どもクラブでプログラムのモデル実施

〔関連事業費〕

教育費 スクール・コミュニティの実現に向けた学校3部制のモデル実施
25,313,920円（169ページ参照）

【財源内訳】

都支出金	22,864,000円	一般財源	42,693,591円
------	-------------	------	-------------

6 市立図書館における電子書籍サービスの拡充 8,561,000円 8,525,163円

〈図書館システム関係費、読書活動推進費〉

みたか電子書籍サービスの利便性の向上を図るため、電子書籍数を拡充するとともに、電子雑誌サービスを新たに導入しました。また、利用者の拡大を図るため、みたか電子書籍サービス利用講座を開催しました。

〔実績・内容〕

- ・ 電子書籍の拡充
電子書籍数 2,703点（うち令和4年度拡充分899点）
- ・ 電子雑誌サービスの導入
154タイトル

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・みたか電子書籍サービス利用講座

実施日	令和4年10月14日（金）
内容	図書館で用意したタブレット端末を使用した「みたか電子書籍サービス」の使い方を学ぶ講座
参加人数	5人

スポーツ推進費

1 中学校における夜間照明設備LED化工事の実施 24,709,800円 22,734,800円

＜学校体育施設開放事業費＞

老朽化が進んでいる中学校の夜間照明について、第二中学校の校庭及び第六中学校のテニスコートの一部のLED化工事を実施し、省エネ等によるランニングコストの削減及び施設使用環境の向上を図りました。実施に当たっては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成金を活用しました。

〔実績・内容〕

令和3年度	第一中学校（校庭）、第六中学校（テニスコート2基）
令和4年度	第二中学校（校庭）、第六中学校（テニスコート2基）

【財源内訳】

諸収入	12,220,000円	一般財源	10,514,800円
-----	-------------	------	-------------

2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等のレガシー事業の実施

＜東京2020大会等レガシー創造事業費＞ 9,114,000円 7,438,379円

「東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議」からの提言等を踏まえて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等のレガシーを受け継ぐための事業を実施しました。

〔実績・内容〕

・三鷹体操、みたかダンスの普及・啓発

実施日	講習会	令和5年3月6日（月）、7日（火）
	スポーツ教室	令和4年4月4日（月）～ 令和5年3月26日（日）
内容	三鷹体操の実技講習会を開催し、講習完了者には修了証を配付したほか、SUBARU総合スポーツセンターにおけるスポーツ教室のプログラムにみたかダンスを取り入れました。	
参加人数	講習会	45人、スポーツ教室 延べ368人

- ・車いすバスケットボール体験会
 - 実施日 令和5年1月14日（土）
 - 内 容 子どもたちの感動体験、障がい者スポーツの裾野の拡大のため、車いすバスケットボール女子日本代表選手等による体験会を開催しました。
 - 参加人数 22人
- ・チリ料理教室
 - 実施日 令和4年9月4日（日）
 - 内 容 身近な「食」を通じて市民のチリへの関心を高め、三鷹市がチリのホストタウンであることを市民に周知するため、チリ独立記念日がある9月にチリ料理教室を開催しました。
 - 参加人数 12人
- ・トップアスリートによるバレーボール教室
 - 実施日 令和4年12月14日（水）～令和5年3月15日（水）
 - 内 容 子どもたちの感動体験とバレーボールで3人のオリンピックを輩出した三鷹市のバレーボールの裾野を広げるため、三鷹市在住の元バレーボール女子日本代表選手による初心者及び経験者向けの教室を開催しました。
 - 参加人数 延べ155人
- ・小学生・親子トライアスロン体験会
 - 実施日 令和4年8月14日（日）
 - 内 容 三鷹市出身のオリンピックである高橋侑子選手にちなんだトライアスロンの魅力を子どもたちに伝え、普及を図るため、元トライアスロン日本代表による体験会を開催しました。
 - 参加人数 22人
- ・タグラグビー出前教室及び交流大会
 - 実施日 出前教室 令和4年10月12日（水）～10月29日（土）
交流大会 令和4年11月6日（日）
 - 内 容 三鷹市と連携協定を結んでいるチーム等のPRや応援気運を高めるとともに、タグラグビーを通じてラグビーの普及を図るため、プロチームによる教室や交流大会を開催しました。
 - 参加人数 出前教室 延べ53人、交流大会 150人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・その他事業

ボッチャ出前教室、ボッチャみたかカップの開催
三鷹国際交流フェスティバルでのチリブースの出店
みたかスポーツサポーターズ交流会の開催 など

【財源内訳】

都支出金	161,000円	一般財源	7,277,379円
------	----------	------	------------

3 心と体の健康都市づくりの推進 2,056,000円 1,543,030円

＜心と体の健康都市づくり推進事業費＞

令和4年に策定した「スポーツを通じた健康都市づくりの基本的な考え方」に基づき、運動習慣の定着に向けた3つの基本的な考え方「科学的根拠に基づく健康推進事業の展開」「事業ターゲットの明確化」「運動のきっかけづくりから運動習慣の定着を見据えた事業転換」により、スポーツを通じた市民の健康増進のための事業を実施しました。

〔実績・内容〕

- ・「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリを活用したウオーキング、ランニングの促進

日常の歩数や距離・時間を指定したウオーキング、ランニングの記録を計測、分析できる「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリの更なる利用を促進するため、バーチャル市民駅伝大会やスタンプラリーなどのイベントを開催し、運動習慣の定着に向けた事業を実施しました。

イベント開催数 6回
参加人数 延べ1,016人

- ・事業効果の検証

健康増進効果を検証するため、日本女子体育大学と連携し、「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリの事業効果について分析・検証を行いました。

- ・カラダに効果的なウオーキング教室

実施日 令和5年2月23日（木・祝）
内容 健康で元気な身体づくりを目指す座学と実技の体験講座
参加人数 19人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 総合スポーツセンターの円滑な管理運営 327,142,000円 316,299,300円

＜総合スポーツセンター管理関係費＞

指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団を中心に、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、多種目のスポーツ教室事業、健康・体力相談事業などを実施するとともに、体育協会や地域スポーツクラブと連携して運動教室を開催するなど、運動習慣の定着を見据えた事業を推進しました。

〔実績・内容〕

- ・施設利用者 年間延べ460,044人（前年度比145%）
- ・種目別個人開放事業

種 目	バスケットボール、バドミントン、卓球
利用者数	6,836人（前年度比125%）
- ・各種スポーツ教室

開 催 数	506教室
参加者数	延べ86,570人（前年度比124%）
- ・健康・体力相談事業

利用者数	延べ454人（前年度比183%）
------	------------------

【財源内訳】

<u>使用料手数料</u>	75,902,340円	<u>諸 収 入</u>	5,000,000円
<u>一 般 財 源</u>	235,396,960円		

5 大沢野川グラウンドの復旧工事と利用再開 698,591,218円 576,830,058円

＜大沢野川グラウンド関係費、大沢野川グラウンド復旧事業費＞

東京都の野川大沢調節池規模拡大工事のため利用を停止していた大沢野川グラウンドについて、令和5年5月の利用再開に向けて、令和4年7月から復旧工事に着手し、令和5年3月に完了しました。また、利用再開に当たっては、新川テニスコートや大沢総合グラウンドなども含めた一体的な管理運営を図るため、令和5年2月から公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団が指定管理者として、施設予約の受付や施設開設の周知等の準備業務を行いました。

〔債務負担行為の内容〕

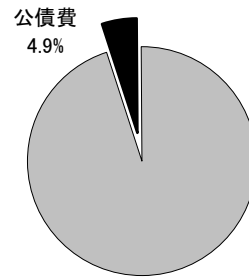
大沢野川グラウンド指定管理料
（令和5～8年度＜債務負担分＞）

【財源内訳】

<u>諸 収 入</u>	570,266,732円	<u>一 般 財 源</u>	6,563,326円
--------------	--------------	----------------	------------

第11款 公債費

■ 一般会計に占める割合



■ 予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	3,752,233	3,728,549	0	0	18,427	3,710,122	99.4%
令和3年度	4,357,258	4,336,343	0	0	22,995	4,313,348	99.5%
増 △減	△605,025	△607,794	0	0	△4,568	△603,226	—

歳 入

科目名及び事業概要	予算現額	決算額
-----------	------	-----

国庫支出金

1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 731,743,000円 774,452,000円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、市町村が地域の実情に応じてきめ細かに必要な事業を実施できるよう令和2年度に創設された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付されました。

令和4年度は物価高騰対策事業の財源として活用できることとなったため、感染症対策に加え、物価高騰に直面する生活者や事業者への支援など幅広い事業の財源として有効に活用しました。

[充当事業]

(単位 円)

款	事 業	充当額
民生費	介護・障がい福祉サービス事業所への物価高騰に伴う支援	104,678,000
	保育施設等への物価高騰に伴う支援	25,979,000
	物価高騰対策子育て応援給付金の給付	250,890,000
農林費	農家への肥料購入費用の支援	1,596,000
商工費	経営相談窓口の開設期間の延長	4,208,000
	公衆浴場事業者への燃料費の支援	2,581,000
	生産性向上に取り組む事業者への補助	2,395,000
	中小企業等への特別給付金の給付	55,174,000
	地域応援商品券事業の実施	131,032,000
土木費	タクシー事業者継続支援事業の実施	16,788,000
教育費	学校給食の食材費高騰分の支援	12,563,000
	学習用タブレット端末を活用した授業環境の整備	166,568,000
計		774,452,000

特別会計決算の概要

I 国民健康保険事業特別会計

本年度の歳出決算額は、176億4,879万円となり、前年度と比較すると1億4,936万1千円（0.9%）の増となりました。

『保険給付費』は、被保険者1人当たりの医療費が増加しているものの、被保険者数の減少などの影響により8,121万2千円（0.7%）の減となりました。

一方で、国民健康保険制度の都道府県単位化¹により東京都へ納付する『国民健康保険事業費納付金』は国が定める係数により東京都が当初予算編成時に算定するもので、1人当たりの医療費の増加による療養給付費の伸びを見込んだことから、3億1,541万1千円（5.4%）の増となりました。

歳入決算額は、177億6,899万4千円となり、前年度と比較すると1億3,524万7千円（0.8%）の増となりました。これは、歳出の『保険給付費』に連動して交付される「保険給付費等交付金」の減を反映して『都支出金』が1億4,859万3千円（1.3%）の減となった一方で、『国民健康保険税』が被保険者数の減少による影響があったものの、保険税の改定²を反映して1億7,641万8千円（4.7%）の増となったことなどによるものです。

こうしたことから『繰入金』のうち、一般会計からの「その他繰入金」は1億2,200万円（8.0%）の増となりました。

¹ 平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保など、国民健康保険制度の運営に当たり中心的な役割を担っています。

² 保険税の改定

課税限度額	960,000円（令和3年度まで）	→	990,000円（令和4年度以降）
所得割税率	8.3%（令和3年度まで）	→	8.8%（令和4年度以降）
均等割額	50,800円（令和3年度まで）	→	52,200円（令和4年度以降）

(表 18) 款別の決算額

(歳入)

科 目	令和4年度		令和3年度		増 △減		被保険者1人(世帯)当たり	
	決算額	構成比	決算額	構成比	金額	比率	4	3
	千円	%	千円	%	千円	%	円	円
1. 国民健康保険税	3,920,761	22.1	3,744,343	21.2	176,418	4.7	108,311 (153,431)	100,844 (144,681)
2. 使用料及び手数料	37	0.0	45	0.0	△8	△17.8	1 (2)	1 (2)
3. 国庫支出金	75	0.0	14,838	0.1	△14,763	△99.5	2 (3)	400 (573)
4. 都支出金	11,218,366	63.1	11,366,959	64.4	△148,593	△1.3	309,908 (439,006)	306,140 (439,218)
5. 繰入金	2,454,082	13.8	2,303,658	13.1	150,424	6.5	67,794 (96,035)	62,043 (89,013)
1. 法定繰入金	808,082	4.5	779,658	4.4	28,424	3.6	22,323 (31,622)	20,998 (30,126)
2. その他繰入金	1,646,000	9.3	1,524,000	8.7	122,000	8.0	45,471 (64,413)	41,045 (58,887)
6. 繰越金	134,318	0.8	169,696	1.0	△35,378	△20.8	3,711 (5,256)	4,570 (6,557)
7. 諸収入	41,355	0.2	34,208	0.2	7,147	20.9	1,143 (1,618)	921 (1,322)
合 計	17,768,994	100.0	17,633,747	100.0	135,247	0.8	490,870 (695,351)	474,919 (681,366)

(歳出)

科 目	令和4年度		令和3年度		増 △減		被保険者1人(世帯)当たり	
	決算額	構成比	決算額	構成比	金額	比率	4	3
	千円	%	千円	%	千円	%	円	円
1. 総務費	226,906	1.3	271,237	1.6	△44,331	△16.3	6,268 (8,879)	7,305 (10,481)
2. 保険給付費	10,932,453	61.9	11,013,665	62.9	△81,212	△0.7	302,010 (427,818)	296,625 (425,567)
3. 国民健康保険事業費 納付金	6,207,325	35.2	5,891,914	33.7	315,411	5.4	171,478 (242,910)	158,683 (227,663)
4. 共同事業拠出金	0	0.0	0	0.0	0	—	0 (0)	0 (0)
5. 保健事業費	140,667	0.8	145,037	0.8	△4,370	△3.0	3,886 (5,505)	3,906 (5,604)
6. 諸支出金	141,439	0.8	177,576	1.0	△36,137	△20.4	3,907 (5,535)	4,783 (6,861)
合 計	17,648,790	100.0	17,499,429	100.0	149,361	0.9	487,549 (690,647)	471,302 (676,176)

※ 令和3年度年間平均被保険者数 37,130人 同平均世帯数 25,880世帯

※ 令和4年度年間平均被保険者数 36,199人 同平均世帯数 25,554世帯

Ⅱ 介護サービス事業特別会計

本年度の歳出決算額は、9億1,837万4千円となり、前年度と比較すると1億2,880万6千円（16.3%）の増、歳入決算額は、9億2,137万4千円となり、1億2,847万3千円（16.2%）の増となりました。

施設別の運営状況をみると、牟礼老人保健施設「はなかいどう」の入所部門の年間平均利用率は76.0%（前年度比2.8ポイント増）、通所部門の年間平均利用率は76.8%（前年度比1.0ポイント増）となり、令和3年度より進めてきた大規模改修工事が5月に完了し通常運営に戻ったことを反映したものとなりました。

また、高齢者センター「けやき苑」の年間平均利用率は、63.2%（前年度比2.3ポイント減）となり、新型コロナウイルス感染症による利用控えは少なくなっているものの、エレベーター改修工事に伴い、施設の2階の利用が制限された影響を反映したものとなりました。

歳出については、高齢者センターの改修工事のほか、令和3年度より実施している、牟礼老人保健施設の大規模改修に係る工事費の増により、『介護サービス事業費』が1億3,071万3千円（17.3%）の増となりました。

歳入については、高齢者センターの改修及び牟礼老人保健施設の大規模改修に伴う財源として、『市債』が1億2,700万円（82.5%）の増となったほか、利用実績の増により、『介護サービス収入』が843万4千円（2.2%）の増となりました。

こうしたことから、一般会計からの『繰入金』は、1,169万3千円（5.9%）の減となりました。

(表 19) 款別 (目別) の決算額

(歳入)

科 目	令和4年度		令和3年度		増 減		収 入 率	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	比 率	4	3
	千円	%	千円	%	千円	%	%	%
1. 介護サービス収入	391,594	42.5	383,160	48.3	8,434	2.2	91.3	92.2
2. 使用料及び手数料	17,410	1.9	17,014	2.2	396	2.3	90.2	95.9
3. 繰 入 金	185,652	20.1	197,345	24.9	△11,693	△5.9	91.4	83.3
4. 繰 越 金	3,333	0.4	3,074	0.4	259	8.4	333,325.6	307,463.0
5. 諸 収 入	40,113	4.4	38,308	4.8	1,805	4.7	92.8	83.4
6. 市 債	281,000	30.5	154,000	19.4	127,000	82.5	99.6	99.5
7. 都 支 出 金	2,272	0.2	—	—	2,272	皆増	—	—
合 計	921,374	100.0	792,901	100.0	128,473	16.2	94.3	91.1

(歳出)

科 目	令和4年度		令和3年度		増 減		執 行 率	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	比 率	4	3
	千円	%	千円	%	千円	%	%	%
1. 介護サービス事業費	886,462	96.5	755,749	95.7	130,713	17.3	94.2	90.6
1. 高齢者センター けやき苑運営費	214,632	23.4	171,061	21.7	43,571	25.5	97.4	92.4
2. 牟礼老人保健 施設運営費等	671,830	73.1	584,688	74.0	87,142	14.9	93.2	90.1
2. 公 債 費	31,912	3.5	33,819	4.3	△1,907	△5.6	99.1	99.7
合 計	918,374	100.0	789,568	100.0	128,806	16.3	94.0	90.7

Ⅲ 介護保険事業特別会計

「三鷹市高齢者計画・第八期介護保険事業計画（計画期間：令和3年度～令和5年度）」の2年目である本年度の歳出決算額は、137億7,990万5千円となり、前年度と比較すると1億1,927万4千円（0.9%）の増となりました。

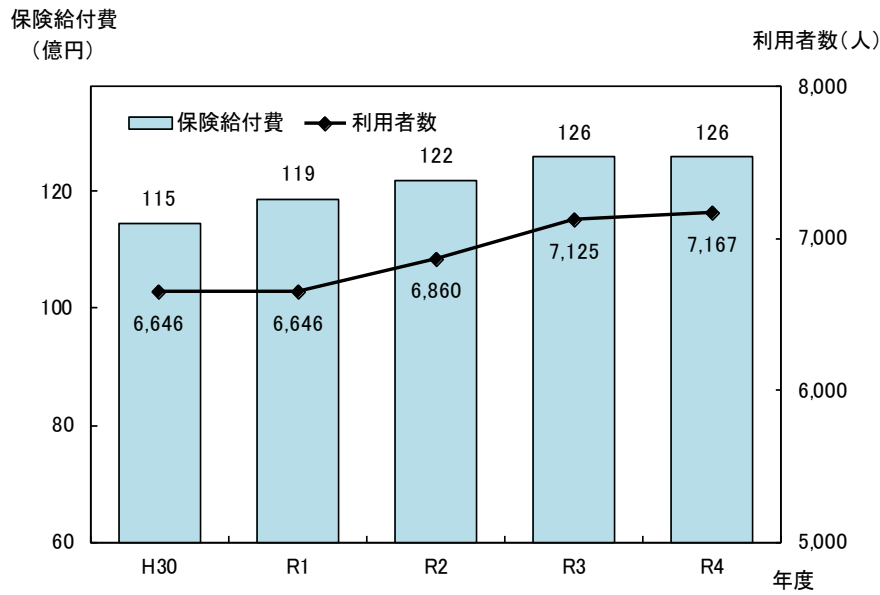
『保険給付費』は、新型コロナウイルス感染症の影響により施設介護サービスの利用が減少したものの、居宅介護サービスの利用が増加したことから、2,229万1千円（0.2%）の増となりました。

また、令和3年度において、コロナ禍でサービスの利用控えが生じたことにより保険給付費が計画時の想定を下回ったことなどから、当該年度における精算で保険料の余剰分に係る『基金積立金』が7,495万8千円（318.9%）の増となりました。

歳入決算額は、140億5,987万円となり、前年度と比較すると1億5,467万2千円（1.1%）の増となりました。これは、令和3年度決算において、サービスの利用控えにより例年を上回る実質収支が生じたため、『繰越金』が9,021万3千円（58.4%）の増となったほか、令和4年10月に導入された介護職員の処遇改善に係る加算等による『保険給付費』の増を見込んでいたことにより、『国庫支出金』が6,660万2千円（2.1%）の増となったことなどによるものです。

計画期間2年目である本年度は、前年度に引き続き、介護保険保険給付費準備基金のとりくずしを行いませんでしたが、「一般会計繰入金」が、「三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）」の策定に着手したことなどから増となったため、『繰入金』全体では、1,463万3千円（0.7%）の増となりました。

(グラフ 12) 介護サービス利用者数と保険給付費の推移



(表 20) 款別の決算額

(歳入)

科 目	令和4年度		令和3年度		増△減		収 入 率	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	比 率	4	3
	千円	%	千円	%	千円	%	%	%
1. 保 険 料	2,973,619	21.2	2,957,054	21.3	16,565	0.6	100.8	101.0
2. 国 庫 支 出 金	3,225,656	22.9	3,159,054	22.7	66,602	2.1	100.7	100.7
3. 支 払 基 金 交 付 金	3,480,060	24.8	3,507,632	25.2	△27,572	△0.8	94.1	97.3
4. 都 支 出 金	1,967,827	14.0	1,975,324	14.2	△7,497	△0.4	94.9	98.0
5. 財 産 収 入	15	0.0	16	0.0	△1	△6.3	97.8	92.4
6. 繰 入 金	2,164,575	15.4	2,149,942	15.5	14,633	0.7	86.9	90.7
7. 繰 越 金	244,567	1.7	154,354	1.1	90,213	58.4	100.0	100.0
8. 諸 収 入	3,551	0.0	1,822	0.0	1,729	94.9	563.8	286.0
合 計	14,059,870	100.0	13,905,198	100.0	154,672	1.1	95.9	97.8

(歳出)

科 目	令和4年度		令和3年度		増△減		執 行 率	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	比 率	4	3
	千円	%	千円	%	千円	%	%	%
1. 総 務 費	308,320	2.2	295,652	2.2	12,668	4.3	85.8	79.8
2. 保 険 給 付 費	12,623,067	91.6	12,600,776	92.2	22,291	0.2	94.8	97.3
3. 地 域 支 援 事 業 費	628,219	4.6	621,523	4.5	6,696	1.1	83.3	83.0
4. 基 金 積 立 金	98,461	0.7	23,503	0.2	74,958	318.9	100.0	100.0
5. 諸 支 出 金	121,838	0.9	119,177	0.9	2,661	2.2	97.6	98.2
合 計	13,779,905	100.0	13,660,631	100.0	119,274	0.9	94.0	96.1

IV 後期高齢者医療特別会計

本年度の歳出決算額は、47億6,720万6千円となり、前年度と比較して4億6,155万1千円(10.7%)の増となりました。これは、被保険者数の増などにより、歳入における『後期高齢者医療保険料』に連動する「保険料負担金」や「療養給付費負担金」など、東京都後期高齢者医療広域連合¹へ納付する『広域連合納付金』が4億3,941万7千円(10.8%)の増となったほか、2年ごとに行う被保険者証の一斉更新などに伴い『総務費』が1,907万8千円(18.5%)の増となったことなどによるものです。

なお、本年度も引き続き、東京都後期高齢者医療広域連合が保険料抑制のために独自に行っている葬祭費や審査支払手数料、保険料未収金補填分などに係る財政負担を行いました。

歳入決算額は、47億7,344万2千円となり、前年度と比較して4億6,140万円(10.7%)の増となりました。これは、保険料の改定²や被保険者数の増などにより『後期高齢者医療保険料』が2億7,468万6千円(11.4%)、「療養給付費繰入金」をはじめとする一般会計からの『繰入金』が1億7,081万6千円(9.7%)の増となったことなどによるものです。

本年度の三鷹市での被保険者数は、令和5年3月末で22,525人となり、前年度と比較して746人(3.4%)の増となりました。

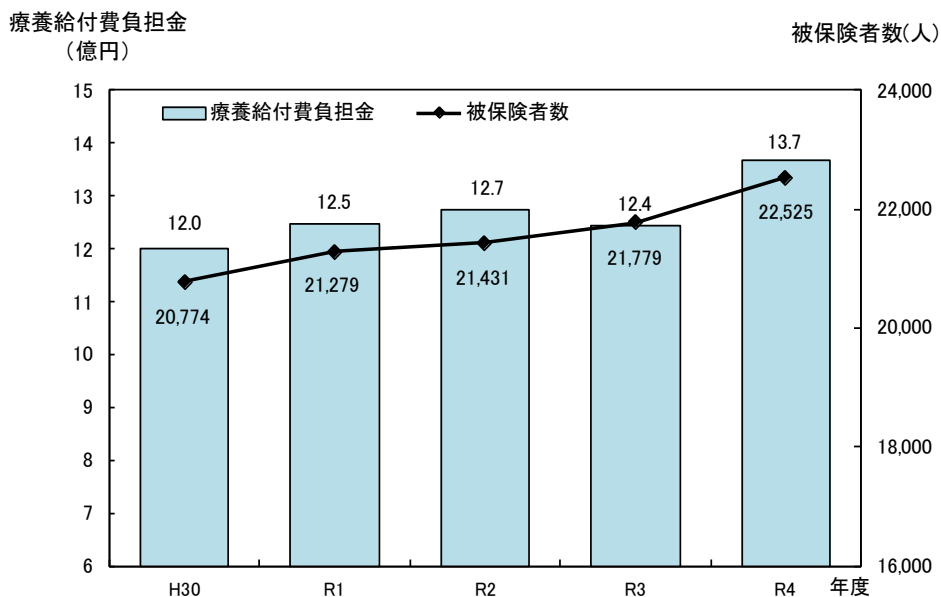
¹ 後期高齢者医療制度は、都内すべての市区町村で構成する東京都後期高齢者医療広域連合が運営主体となっています。各市区町村は、申請受付や保険料徴収などの窓口業務等を行うとともに、東京都後期高齢者医療広域連合に広域連合納付金を納付するなど制度の運営を担っています。

² 保険料の改定

後期高齢者医療制度では2年ごとに保険料の見直しがあり、令和4・5年度の保険料は、次のとおり改定となりました。

賦課限度額	640,000円(令和3年度まで)	→	660,000円(令和4年度以降)
所得割率	8.72%(令和3年度まで)	→	9.49%(令和4年度以降)
均等割額	44,100円(令和3年度まで)	→	46,400円(令和4年度以降)

(グラフ 13) 後期高齢者医療制度被保険者数と療養給付費負担金の推移



<療養給付費負担金>

医療費等に係る公費負担分(医療費等全体の約5割)のことで、市区町村は
 [国:都:市区町村=4:1:1]の負担割合で広域連合に納付します。

(表 21) 款別の決算額

(歳入)

科 目	令和4年度		令和3年度		増 減		収 入 率	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	比 率	4	3
	千円	%	千円	%	千円	%	%	%
1. 後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	2,683,788	56.2	2,409,102	55.9	274,686	11.4	99.8	99.7
2. 使用料及び手数料	0	0.0	0	0.0	0	—	0.0	0.0
3. 繰 入 金	1,939,959	40.7	1,769,143	41.0	170,816	9.7	96.7	94.0
4. 繰 越 金	6,387	0.1	6,021	0.1	366	6.1	638,725.6	139.0
5. 諸 収 入	143,308	3.0	127,776	3.0	15,532	12.2	103.0	93.4
合 計	4,773,442	100.0	4,312,042	100.0	461,400	10.7	98.8	97.1

(歳出)

科 目	令和4年度		令和3年度		増 減		執 行 率	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	比 率	4	3
	千円	%	千円	%	千円	%	%	%
1. 総 務 費	122,385	2.6	103,307	2.4	19,078	18.5	95.0	94.4
2. 広域連合納付金	4,526,646	94.9	4,087,229	94.9	439,417	10.8	99.1	97.5
3. 保 健 事 業 費	113,974	2.4	110,647	2.6	3,327	3.0	89.9	87.9
4. 諸 支 出 金	4,201	0.1	4,472	0.1	△271	△6.1	67.8	63.9
合 計	4,767,206	100.0	4,305,655	100.0	461,551	10.7	98.6	97.0

V 下水道事業会計

下水道事業については、令和2年4月からの地方公営企業法の一部適用に伴い、公営企業会計方式へと移行しています。公営企業決算においては、経常的な営業収支である「収益的収支」と建設改良等に関する収支である「資本的収支」に区分することとされています。また、国庫補助金等の固定資産取得のための財源は、繰延収益（長期前受金）とし、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化する経理を行います。

「収益的収支」の収入に、主な営業収益である「下水道使用料」のほか、現金収入を伴わない長期前受金戻入等が計上され、支出には管渠・処理場等の維持管理費に加え、現金支出を伴わない減価償却費等が計上されます。本年度の決算額は、収入が33億2,937万円、支出が30億5,065万1千円となっており、収支差引額は2億7,871万9千円で、前年度比4,614万5千円（19.8%）の増となっています。これは、施設の耐用年数の経過により「減価償却費」が減になったことなどから『営業費用』が減になったほか、「企業債利息」が減になったことから『営業外費用』が減になったためです。

「資本的収支」の収入には、主に建設工事等の財源となる国庫補助金や企業債等が計上され、支出には建設改良費や企業債の償還元金等が計上されます。本年度の決算額は、収入が12億4,752万8千円、支出が19億5,614万4千円で、差引7億861万6千円の不足となりましたが、「企業債償還金」の減により、不足額は前年度比2,162万円（3.0%）の減となっています。また、東部水再生センターにおける汚泥脱水設備等改築工事（第一期）の工事費を令和3年度から4年度に繰り越したことにより、『建設改良費』とその財源である「企業債」「国庫補助金」「都補助金」が増となりました。

なお、令和4年度の一般会計からの負担金・補助金の合計額は、10億8,559万円となり、前年度と比較すると3,579万円（3.2%）の減となっています。また、当年度未処分利益剰余金のうち、資本金への組入を除いた1,073万3千円の処分については、企業債償還の財源に充てるため、減債積立金に積立てを行います。

(表 22) 下水道事業会計収入及び支出の内訳

(収益的収入及び支出)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減	
	決算額	決算額	金 額	比 率
	千円	千円	千円	%
1. 下水道事業収益①	3,329,370	3,448,028	△118,658	△3.4
1. 営業収益	2,697,520	2,810,013	△112,493	△4.0
2. 営業外収益	631,850	638,015	△6,165	△1.0
2. 下水道事業費用②	3,050,651	3,215,454	△164,803	△5.1
1. 営業費用	2,847,821	2,989,844	△142,023	△4.8
2. 営業外費用	202,780	225,431	△22,651	△10.0
3. 特別損失	50	179	△129	△72.1
収支差引額 ①－②	278,719	232,574	46,145	19.8

(資本的収入及び支出)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減	
	決算額	決算額	金 額	比 率
	千円	千円	千円	%
1. 資本的収入③	1,247,528	638,615	608,913	95.3
1. 企業債	853,500	435,400	418,100	96.0
2. 国庫補助金	337,287	150,954	186,333	123.4
3. 都補助金	14,868	6,596	8,272	125.4
4. 他会計補助金	20,459	25,085	△4,626	△18.4
5. 負担金等	21,414	20,580	834	4.1
2. 資本的支出④	1,956,144	1,368,851	587,293	42.9
1. 建設改良費	1,207,263	594,515	612,748	103.1
2. 流域下水道建設費 負担金	26,055	32,530	△6,475	△19.9
3. 企業債償還金	722,826	741,806	△18,980	△2.6
収支差引額 ③－④	△708,616	△730,236	21,620	△3.0

Ⅵ 主要事業の成果

※特定財源がある事務事業についてのみの
【財源内訳】欄を設けています。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

国民健康保険事業特別会計

1 国民健康保険税の改定

＜歳入：国民健康保険税＞

国民健康保険財政の健全化と負担の適正化を図るため、保険税（課税限度額、所得割税率及び均等割額）を改定しました。

〔国民健康保険税の改定内容〕

	令和3年度まで	令和4年度以降
課税限度額	960,000円 →	990,000円
所得割税率	8.3% →	8.8%
均等割額	50,800円 →	52,200円

2 未就学児に係る国民健康保険税の均等割軽減の実施 14,557,000円 11,774,908円

＜歳入：一般会計繰入金（未就学児均等割保険税繰入金）＞

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、令和4年度から未就学児について均等割額の半額を軽減しました。なお、法定軽減（7・5・2割軽減）世帯については、法定軽減後の均等割額の半額を軽減しています。

〔軽減措置の内容〕

	令和3年度まで	令和4年度以降
軽減割合 (均等割額)	7割軽減 (11,760円) →	8.5割軽減 (5,880円)
	5割軽減 (19,600円) →	7.5割軽減 (9,800円)
	2割軽減 (31,360円) →	6割軽減 (15,680円)
	軽減なし (39,200円) →	5割軽減 (19,600円)

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

介護サービス事業特別会計

1 はなかいどう大規模改修工事の実施 253,434,000円 253,434,000円

＜牟礼老人保健施設大規模改修事業費＞

令和3年度より進めてきた、施設の老朽化に伴う大規模改修工事が完了し、令和4年5月から、はなかいどうでの運営を再開しました。なお、工事期間中は、旧どんぐり山施設を活用し、利用者の安全確保等を図りながらサービスを継続しました。

〔実績・内容〕

工事内容 空調設備改修、天井改修、エレベーター改修、屋上・外壁改修等
 工 期 令和3年11月～令和4年7月
 ※現場完了検査は令和4年5月に実施

【財源内訳】

市 債	253,000,000円	一 般 財 源	434,000円
-----	--------------	---------	----------

■牟礼老人保健施設はなかいどう



介護保険事業特別会計

1 「三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画」の策定に向けた取組

＜高齢者計画・介護保険事業計画策定関係費＞ 10,597,000円 10,176,835円

高齢者に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画（計画期間：令和6～8年度）」の策定に着手し、令和5年度中の策定に向けて高齢者等の実態やニーズに関する調査を実施しました。

〔実績・内容〕

調査の種類	調査対象	回収率	内 容	形式
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の市民 (4,000人)	68.2%	健康や生活の状況、医療・介護・福祉等のニーズなど	郵送
② 要支援・要介護認定者／介護者調査	要支援・要介護認定者／介護者 (1,400人)	56.4%	介護保険制度に対する評価、介護者の状況など	訪問面接
③ 介護サービス事業所調査	介護分野の事業所 (129か所)	74.4%	介護労働者の雇用管理の状況、事業運営上の課題、市への要望など	郵送
④ 介護・看護職員調査	介護分野の介護・看護職員 (1,728人)	20.7%	雇用及び勤務の実態、業務及び労働環境に関する問題意識、市への要望など	郵送

※①、②は無作為抽出による

〔債務負担行為の内容〕

高齢者計画・第九期介護保険事業計画策定支援業務委託事業 9,900,000円

（令和5年度＜債務負担分＞5,500,000円 全体事業費15,400,000円）

2 介護職員の処遇改善の実施

13,405,278,000円 12,639,368,421円

＜居宅介護サービス等給付費、居宅支援サービス等給付費、施設介護サービス等給付費、高額介護サービス等費、介護予防・生活支援サービス事業費＞

国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、令和4年2月に開始した介護職員の処遇改善（収入を3%程度：月額9,000円/人）について、予算を増額（補正予算計上額：68,054,000円）して実施しました。9月までの間は東京都が主体となり、事業所へ直接支給していましたが、10月以降は臨時の報酬改定を踏まえ、市が実施主体として行いました。

※予算現額及び決算額は、処遇改善対象サービスの給付費全体額

【財源内訳】

保 険 料	2,910,378,388円	国 庫 支 出 金	2,890,330,741円
支払基金交付金	3,412,270,012円	都 支 出 金	1,845,303,307円
一 般 財 源	1,581,085,973円		

事業名 < 目名 > 及び事業概要	予算現額	決算額
-------------------	------	-----

下水道事業会計

※【財源内訳】欄には目の名称を記載しています。

1 下水道管路施設の長寿命化の推進 173,789,000円 141,818,600円

〈資本的支出、目：施設改良費〉

「下水道再生計画」に基づき、管更生及びマンホール改築工事等を実施しました。また、令和5年度からの工事に向けた実施設計を行うとともに、上連雀・新川地区等において潜行目視又はテレビカメラを用いた詳細調査を実施しました。

〔実績・内容〕

- ・管更生工事（約9m）、マンホール改築工事（7箇所）等 118,437,000円
- ・実施設計及び詳細調査（約2km） 23,381,600円

【財源内訳】

企業債	121,200,000円	国庫補助金	11,000,000円
都補助金	550,000円	他会計補助金	9,068,600円

2 下水道地震対策の推進 9,504,000円 3,410,000円

〈資本的支出、目：施設改良費〉

下水道施設の災害時等における機能確保を図るため、平成30年度及び令和2年度に実施した下水道施設の耐震診断調査等に基づき、防災拠点である地区公会堂に災害用トイレますを設置しました。

〔実績・内容〕

設置箇所 下連雀むらさき地区公会堂等 12箇所

【財源内訳】

企業債	3,400,000円	他会計補助金	10,000円
-----	------------	--------	---------

事業名<目名>及び事業概要	予算現額	決算額
---------------	------	-----

3 下水処理場等の長寿命化の推進	873,196,000円	846,341,000円
	[うち令和3年度からの繰越分 312,125,000円	312,125,000円]

〈資本的支出、目：施設改良費〉

東部水再生センターにおいて、汚泥脱水設備等改築工事（第一期）及び監視制御設備等更新工事（第四期）を実施したほか、令和5年度以降の汚泥脱水設備及び監視制御設備等の更新工事に向けて実施設計等を行いました。

また、井の頭ポンプ場では令和3年度に引き続き、負荷設備更新工事を実施したほか、新川ポンプ場では令和3年度のストックマネジメント調査及び実施設計に基づき、電気設備等更新工事に着手しました。

なお、東部水再生センターの汚泥脱水設備等改築工事（第二期）については、令和4年度中の工事完了を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等を発端とする資材の供給不足から、汚泥脱水機制御盤の部品の一部に納品遅れが生じ、年度内での工事完了が困難となったため、地方公営企業法第26条の規定による建設改良費の繰越として、翌年度に繰り越しました。

〔実績・債務負担行為の内容〕

・東部水再生センター汚泥脱水設備等改築工事（第一期）	
※令和3年度からの繰越分	312,125,000円
・東部水再生センター監視制御設備等更新工事（第四期）	345,500,106円
・東部水再生センター監視制御設備等更新工事（第五期）実施設計等	13,541,000円
・井の頭ポンプ場負荷設備更新工事	84,584,894円
・新川ポンプ場電気設備等更新工事	90,590,000円
（令和5年度分<債務負担分>49,110,000円 全体事業費139,700,000円）	

〔建設改良費の繰越額〕

令和5年度への繰越分（建設改良費）

東部水再生センター汚泥脱水設備等改築工事（第二期）	190,630,000円
---------------------------	--------------

【財源内訳】

企業債	504,900,000円	国庫補助金	326,287,000円
都補助金	14,318,000円	他会計補助金	789,050円
工事負担金	46,950円		

